

2012年3月期第2四半期決算説明会



2011年11月17日

本日まで説明する内容

- ◇ 2012年 3月期 第2四半期決算概要
- ◇ 中長期成長戦略
- ◇ その他

企業集団の概要

2012年3月期 第2四半期 連結子会社

	11年3月期	12年3月期 第2四半期
日本	10社	10社
米州	5社	4社
欧州	2社	2社
アジア	10社	11社
計	27社	27社

2012年3月期第2四半期 連結決算

単位：百万円

	11年3月期 第2四半期累計	12年3月期 第2四半期累計	増減率
売上高	81,606	81,242	△ 0.4%
営業利益	6,790	6,837	+ 0.7%
経常利益	2,335	1,865	△ 20.1%
当期利益	103	451	+ 333.8%
一株利益	1.81円	7.87円	—
為替 (USドル)	88.91円	79.75円	9.16円高

2012年3月期第2四半期 連結決算

公表値との差異

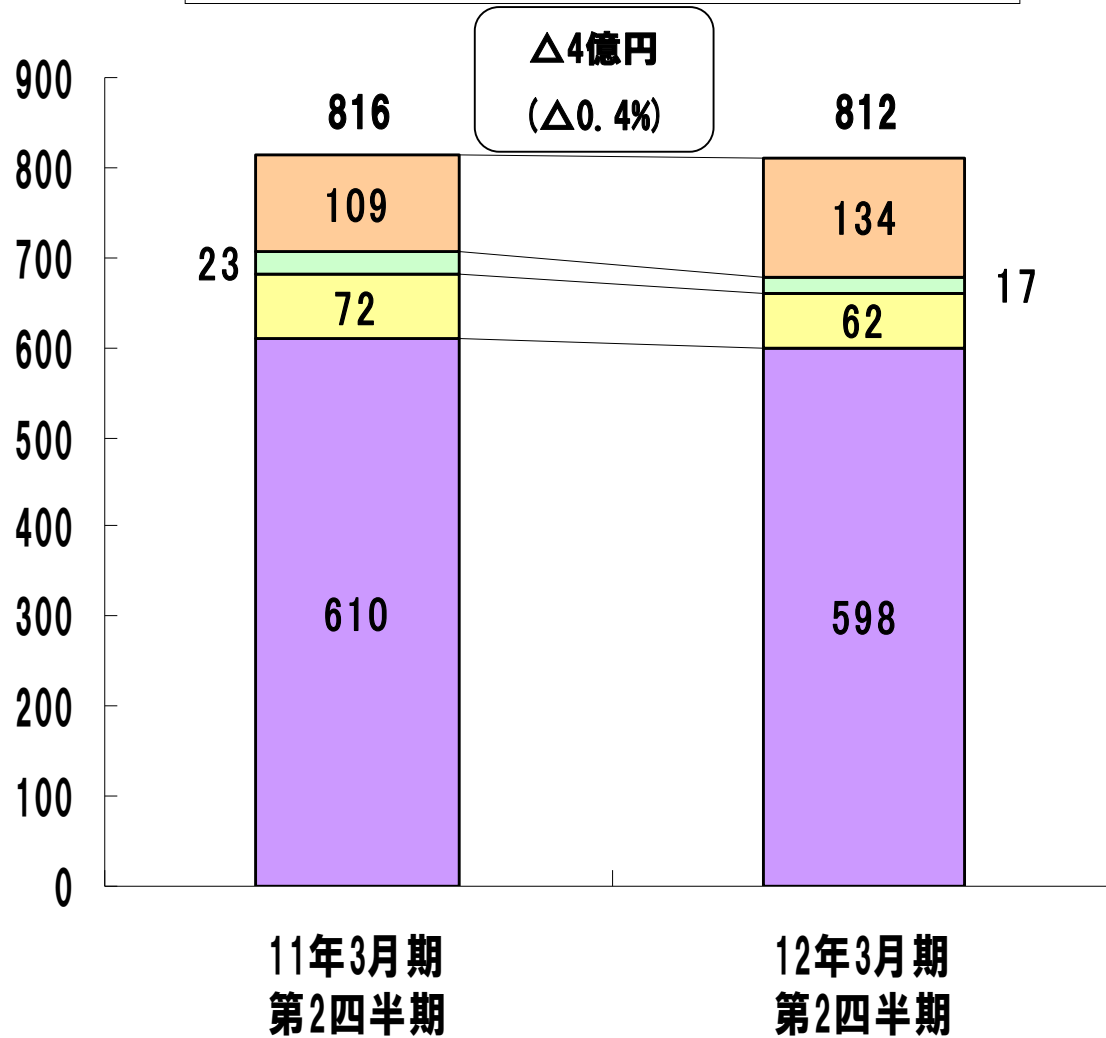
単位：百万円

	公表値 (8月5日付)	12年3月期 第2四半期累計	増減率
売上高	80,000	81,242	+ 1.6%
営業利益	4,900	6,837	+ 39.5%
経常利益	4,600	1,865	△ 59.5%
当期利益	2,500	451	△ 82.0%
一株利益	43.64円	7.87円	—

事業別売上高

単位：億円

■ 計器
 ■ 民生
 ■ ディスプレイ
 ■ その他



・計器 △12億円

四輪：日本・米州・アジア等で減少。

二輪：米州等で増加。

汎用：建機向等で増加。

・民生 △10億円

OA機器向等で減少。

・ディスプレイ △6億円

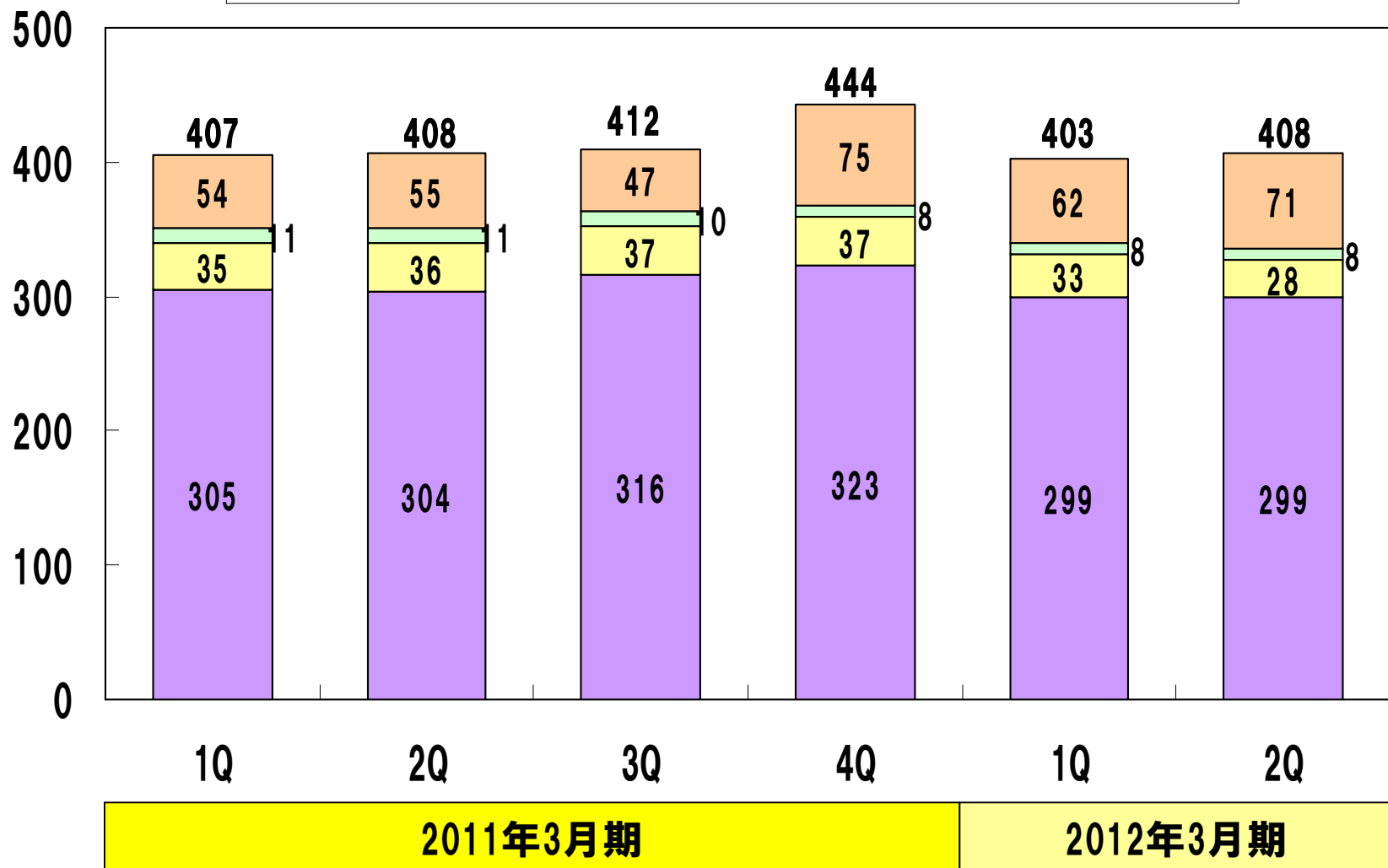
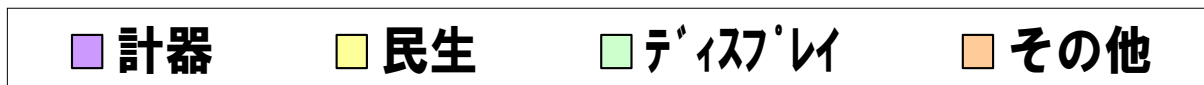
液晶ディスプレイが減少。

・その他 +24億円

自動車販売及び樹脂材料の加工・販売等が増加。

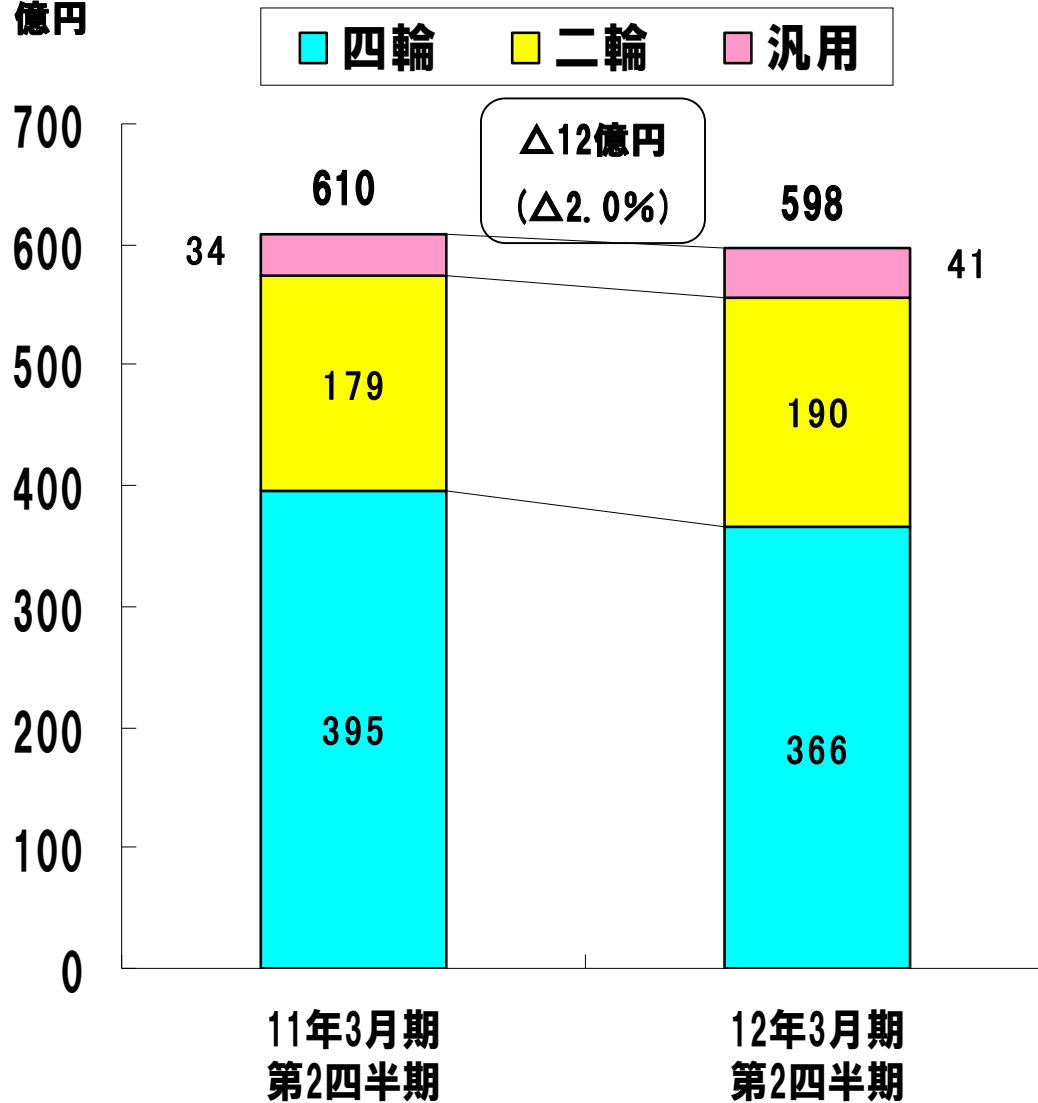
事業別売上高（四半期別推移）

単位：億円



事業別売上高 (計器①)

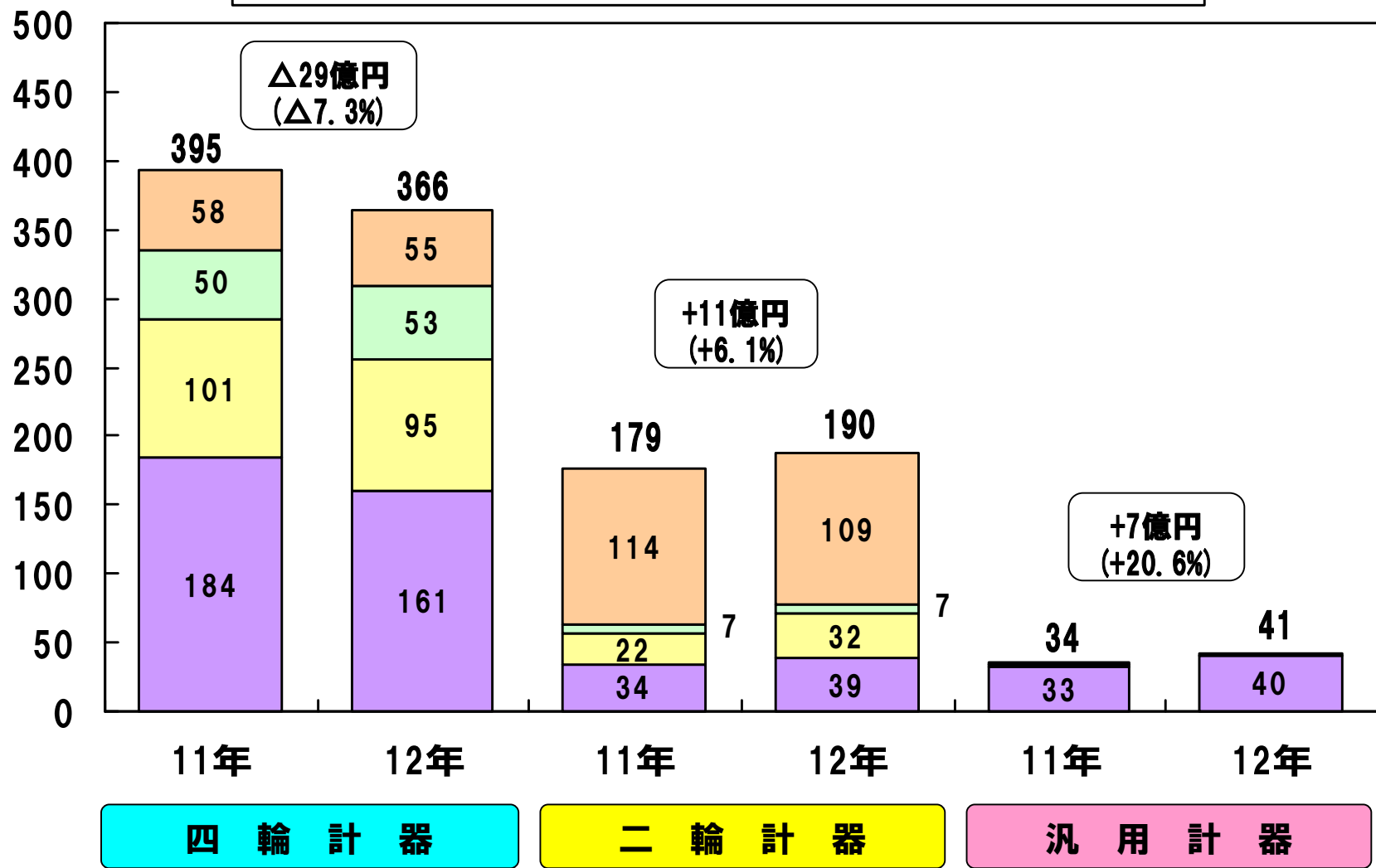
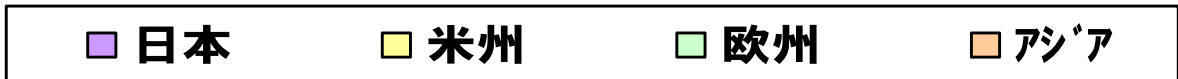
単位：億円



- ・ 四輪 △29億円
 本田グループ、富士重グループ向等が減少。
- ・ 二輪 +11億円
 本田グループ向等が増加。
- ・ 汎用 +7億円
 キャタピラーグループ、日立建機向等が増加。

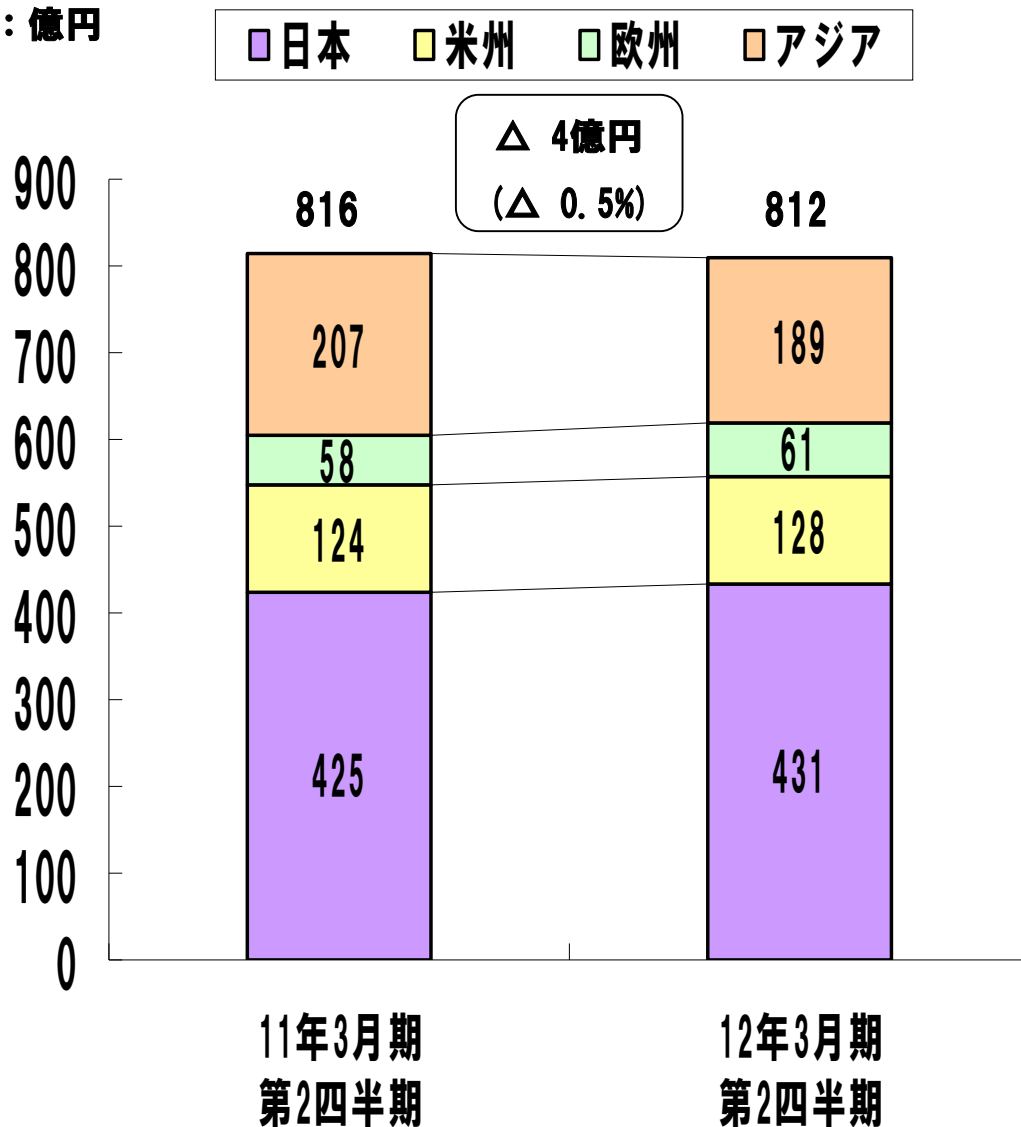
事業別売上高 (計器②)

単位：億円



所在地別売上高

単位：億円

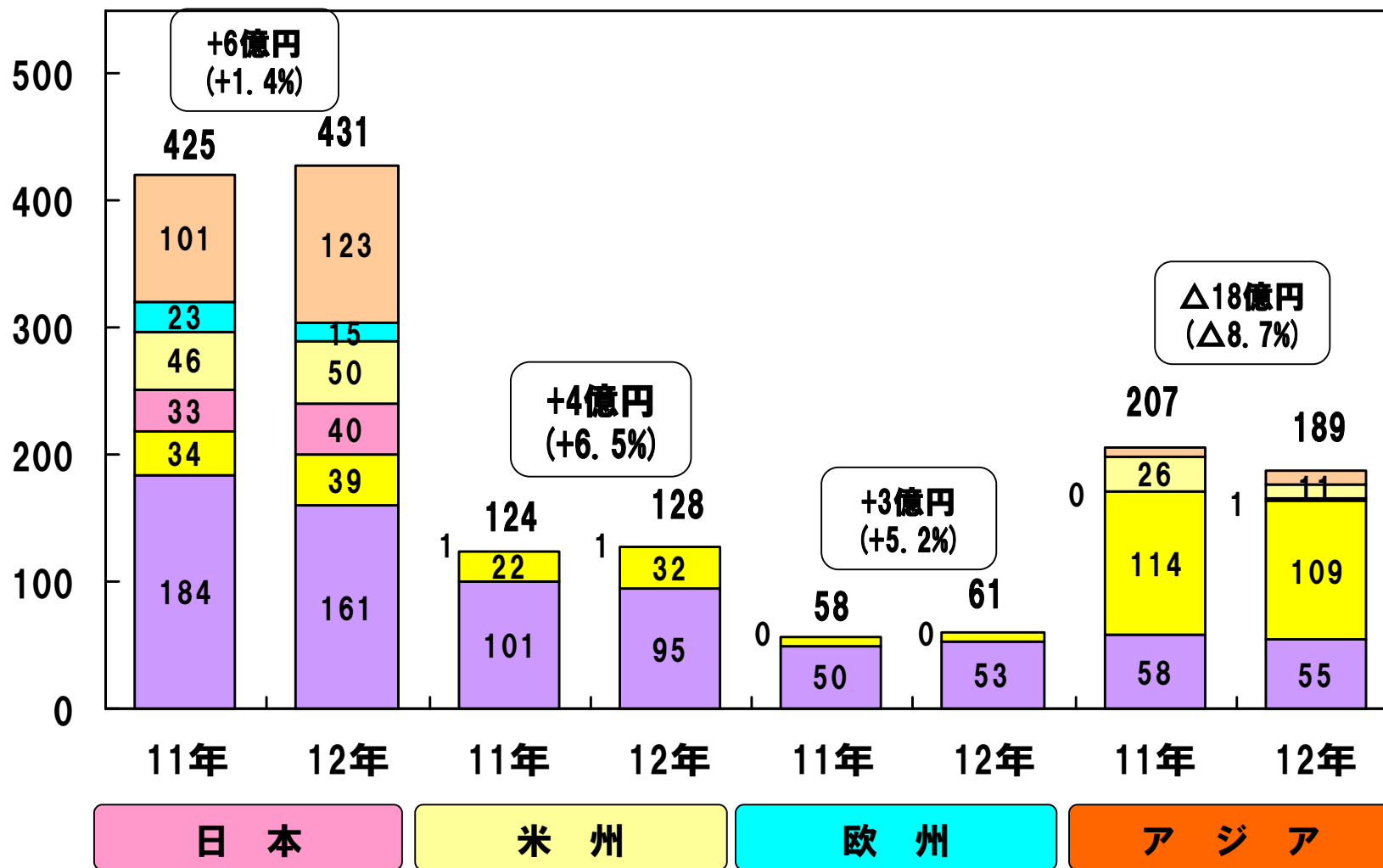


- ・ 日本 + 6億円
二輪・汎用計器、その他等が増加。
- ・ 米州 + 4億円
ブラジルの二輪計器等が増加。
- ・ 欧州 + 3億円
四輪・二輪計器等が増加。
- ・ アジア △17億円
四輪・二輪計器、民生機器等が減少。

所在地別売上高（事業内訳）

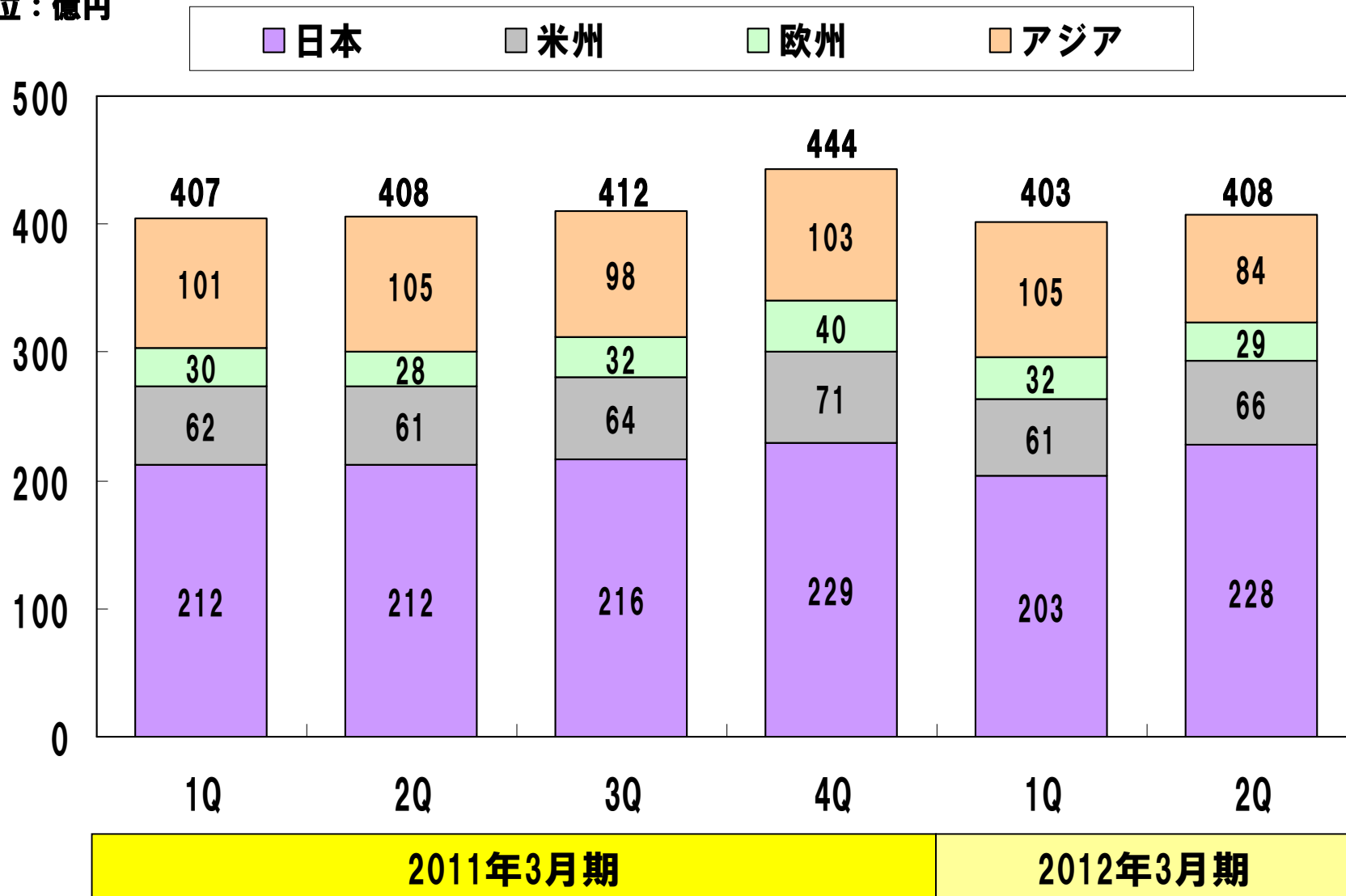
単位：億円

四輪
 二輪
 汎用
 民生
 ディスプレイ
 その他



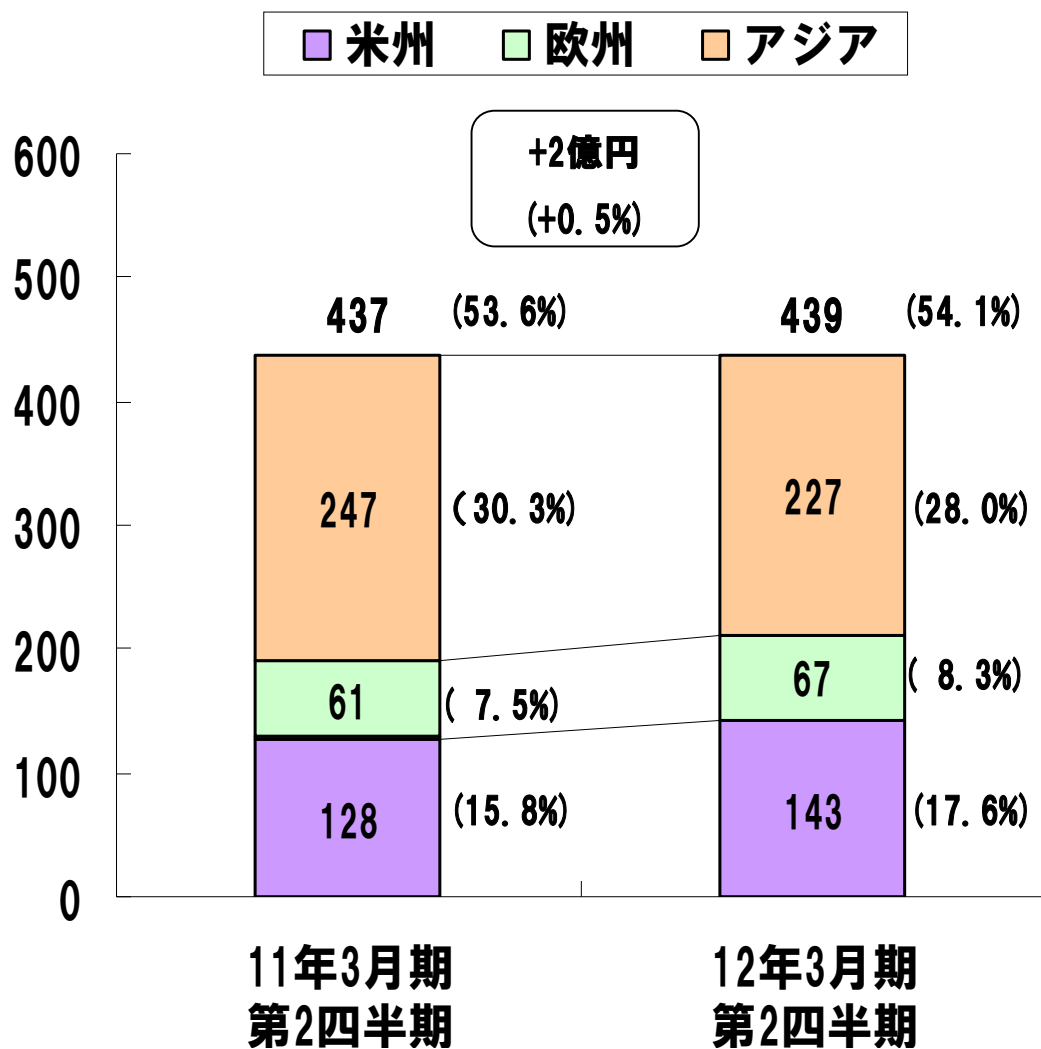
所在地別売上高 (四半期別推移)

単位：億円



海外売上高

単位：億円 （カッコ内は連結売上高に占める海外売上高の割合）

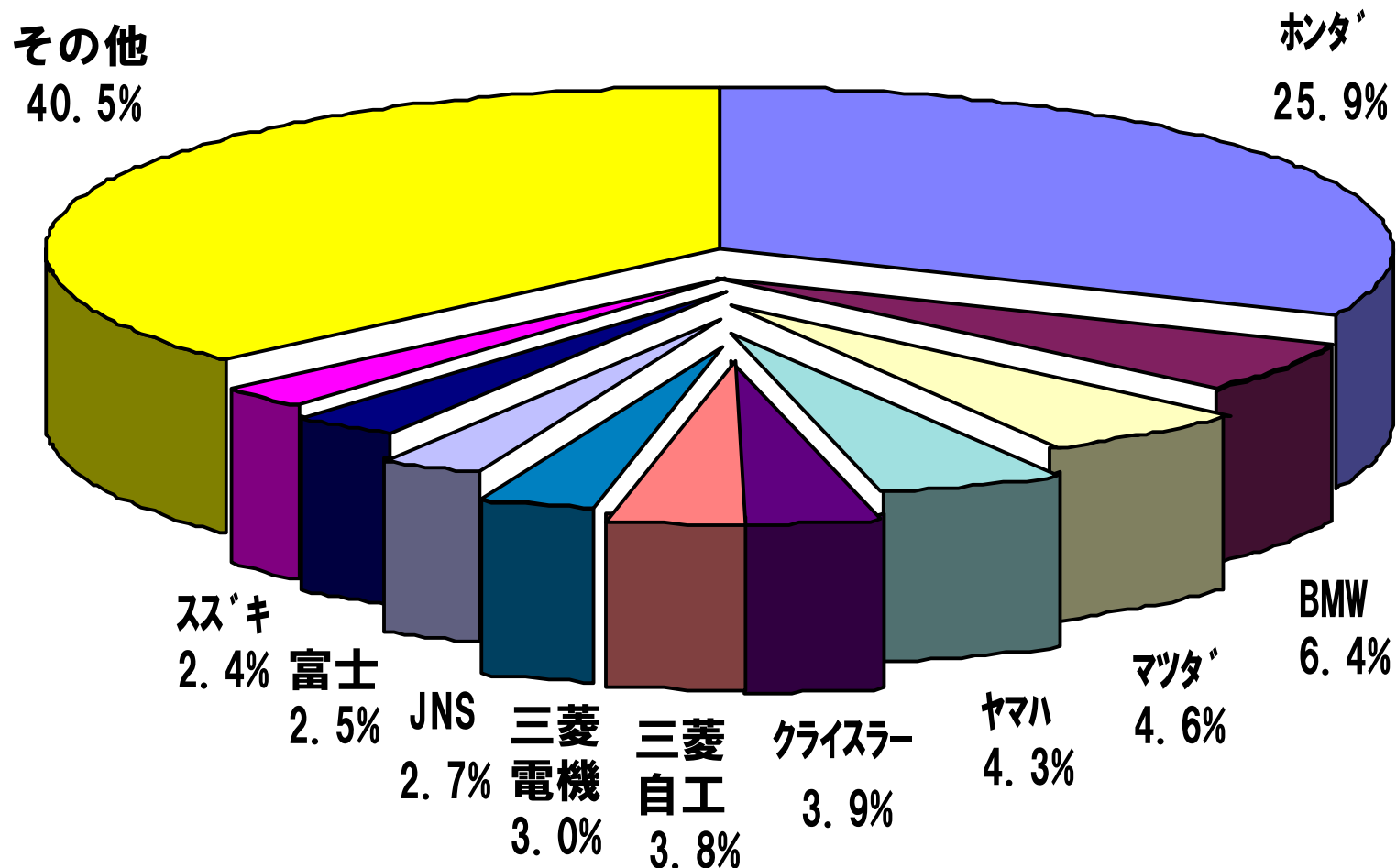


- ・米州 +15億円**
ブラジルの、
二輪計器等が増加。
- ・欧州 +6億円**
四輪・二輪計器が増加。
- ・アジア △20億円**
四輪・二輪計器、
民生機器が減少。

得意先別売上構成上位10社

2012年3月期 第2四半期累計

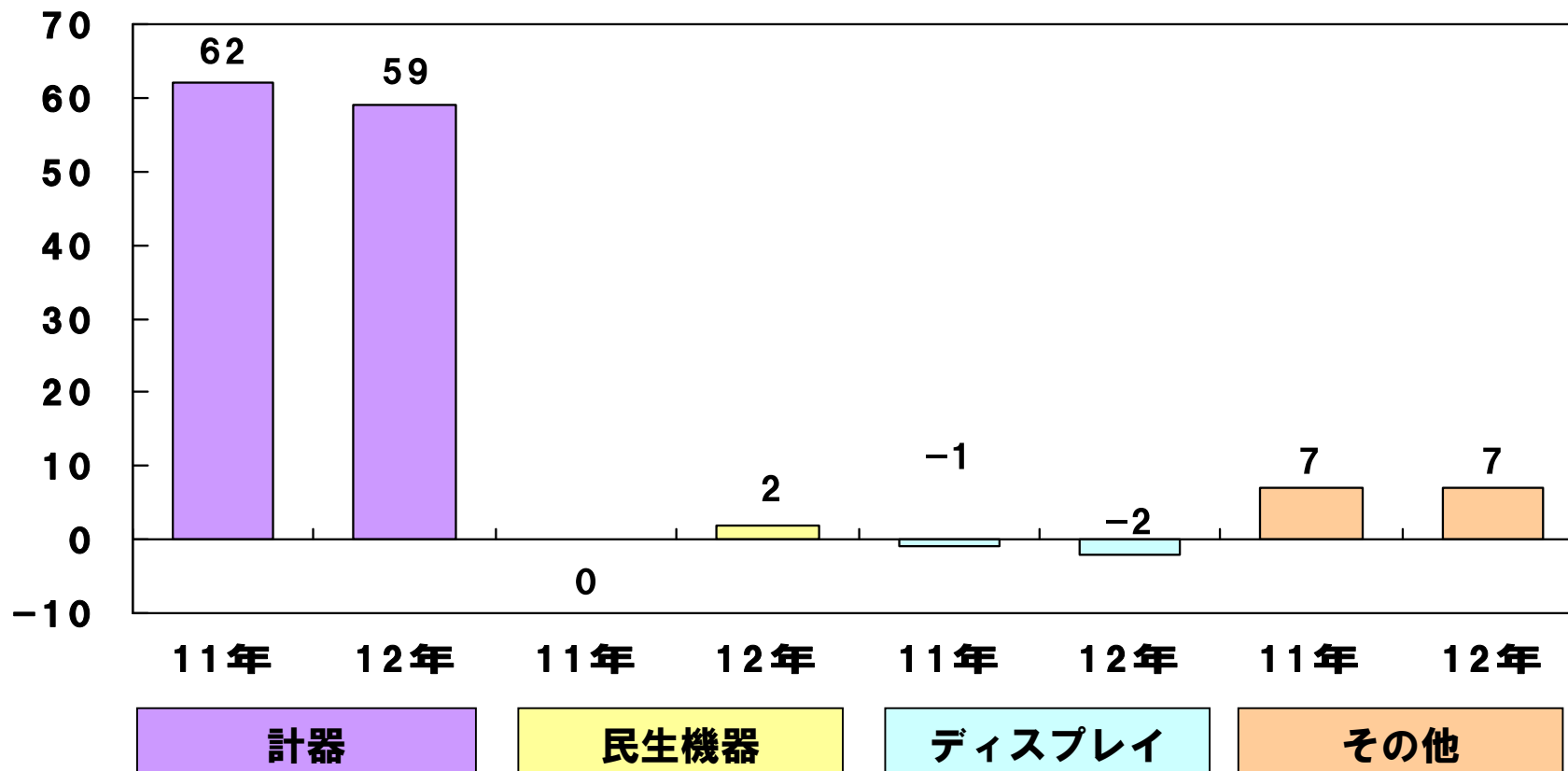
・クライスラーが10位から5位に。



営業利益 事業別

	11年3月期 第2四半期累計	12年3月期 第2四半期累計	増 減
営業利益	67 億円	68 億円	+ 0.7%

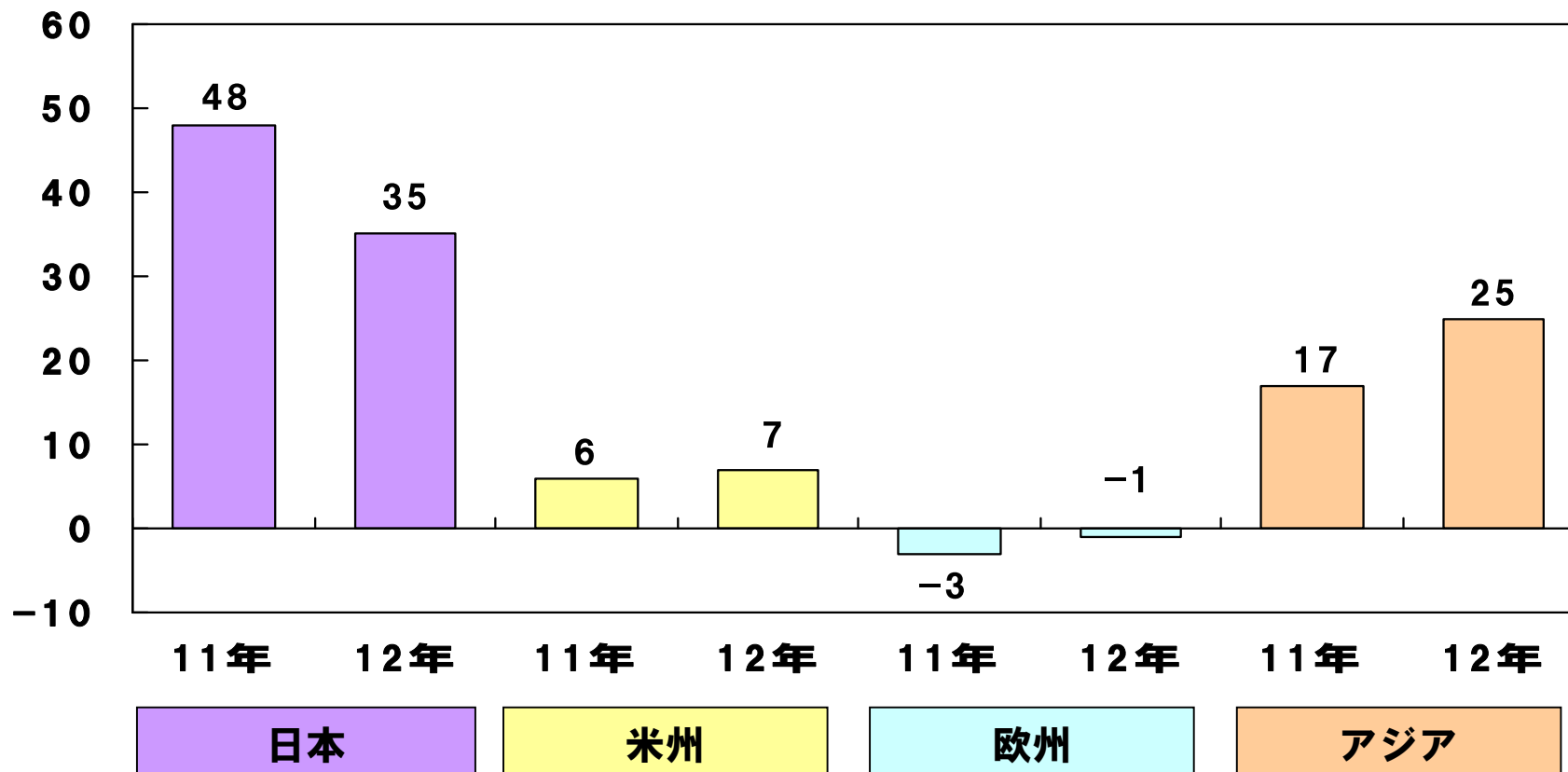
単位：億円



営業利益 所在地別

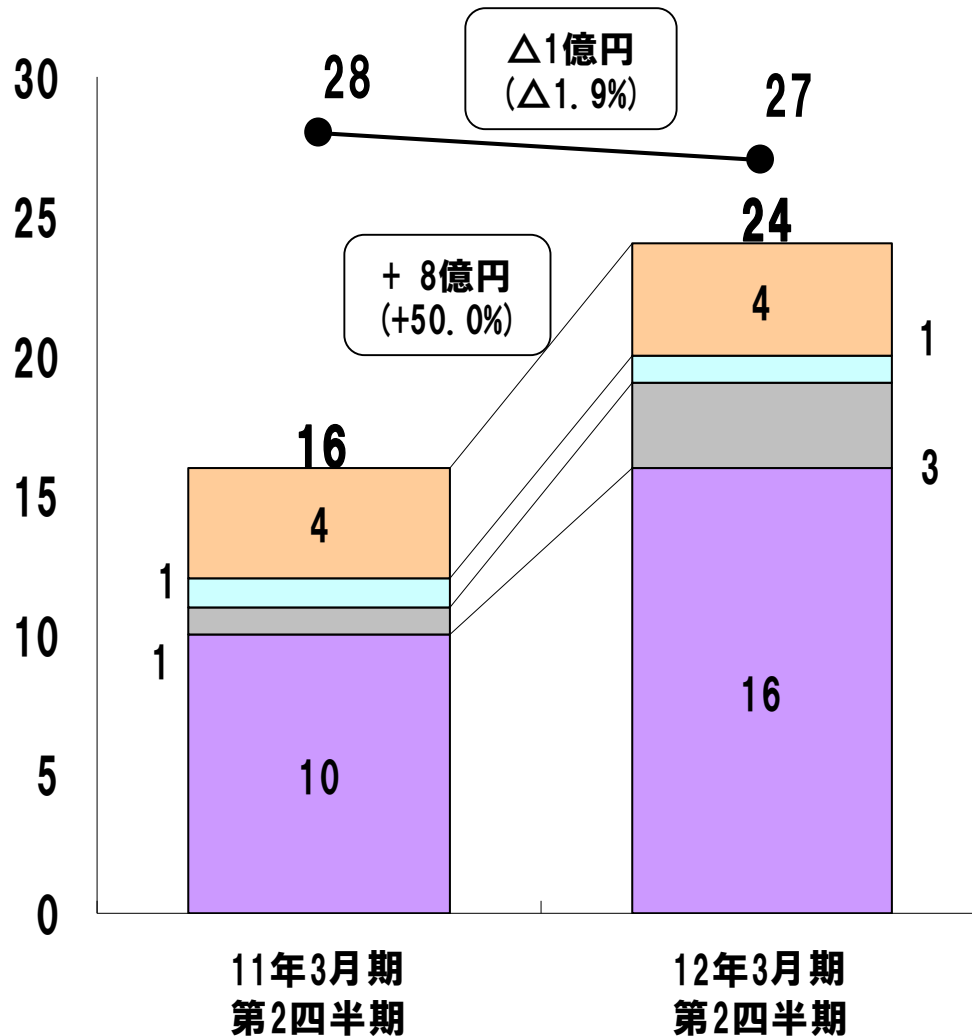
	11年3月期 第2四半期累計	12年3月期 第2四半期累計	増 減
営業利益	67 億円	68 億円	+ 0.7%

単位：億円



設備投資額と減価償却費

単位：億円



・日本 + 6億円

本社：製品内製化による
生産設備及び生産強化の
為の基板実装設備等

NSウエスト：生産革新の為の
工場増改築工事及び基板
実装設備等

・米州 + 2億円

ブラジル：二輪計器増産
対応による成形機設備、
四輪計器新機種対応による
生産設備等

・欧州 + 1億円

・アジア Δ 1億円

為替レート 実績

(期中平均)

単位：円

	11年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	レート差	%
USドル	88.91	79.75	9.16 円高	△10.3%
ポンド	135.03	129.25	5.78 円高	△ 4.3%
バーツ	2.77	2.65	0.12 円高	△ 4.3%

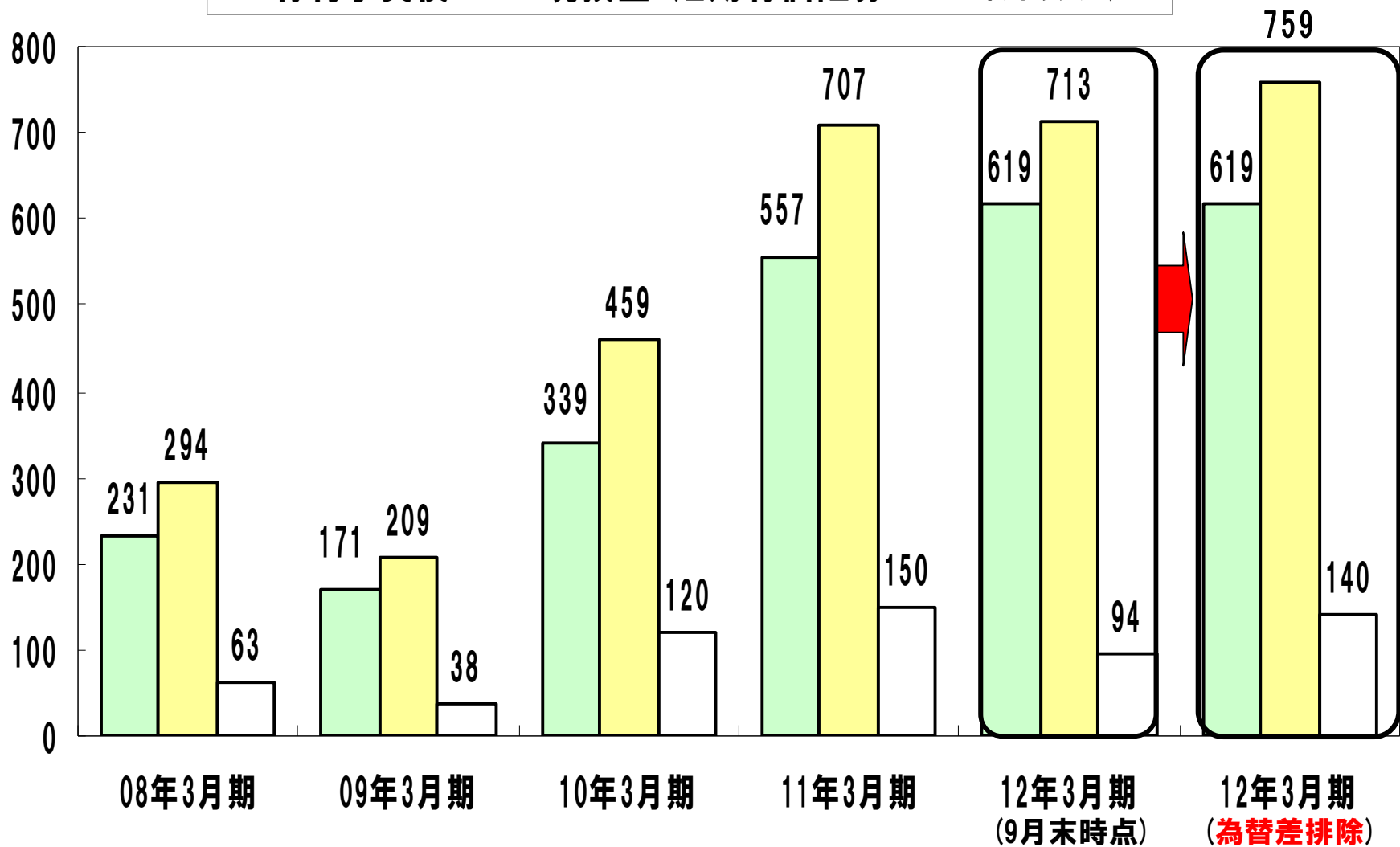
為替感応度

USドルに対する 1円 の変動につき、営業利益で 1.2億円/年

有利子負債と現預金

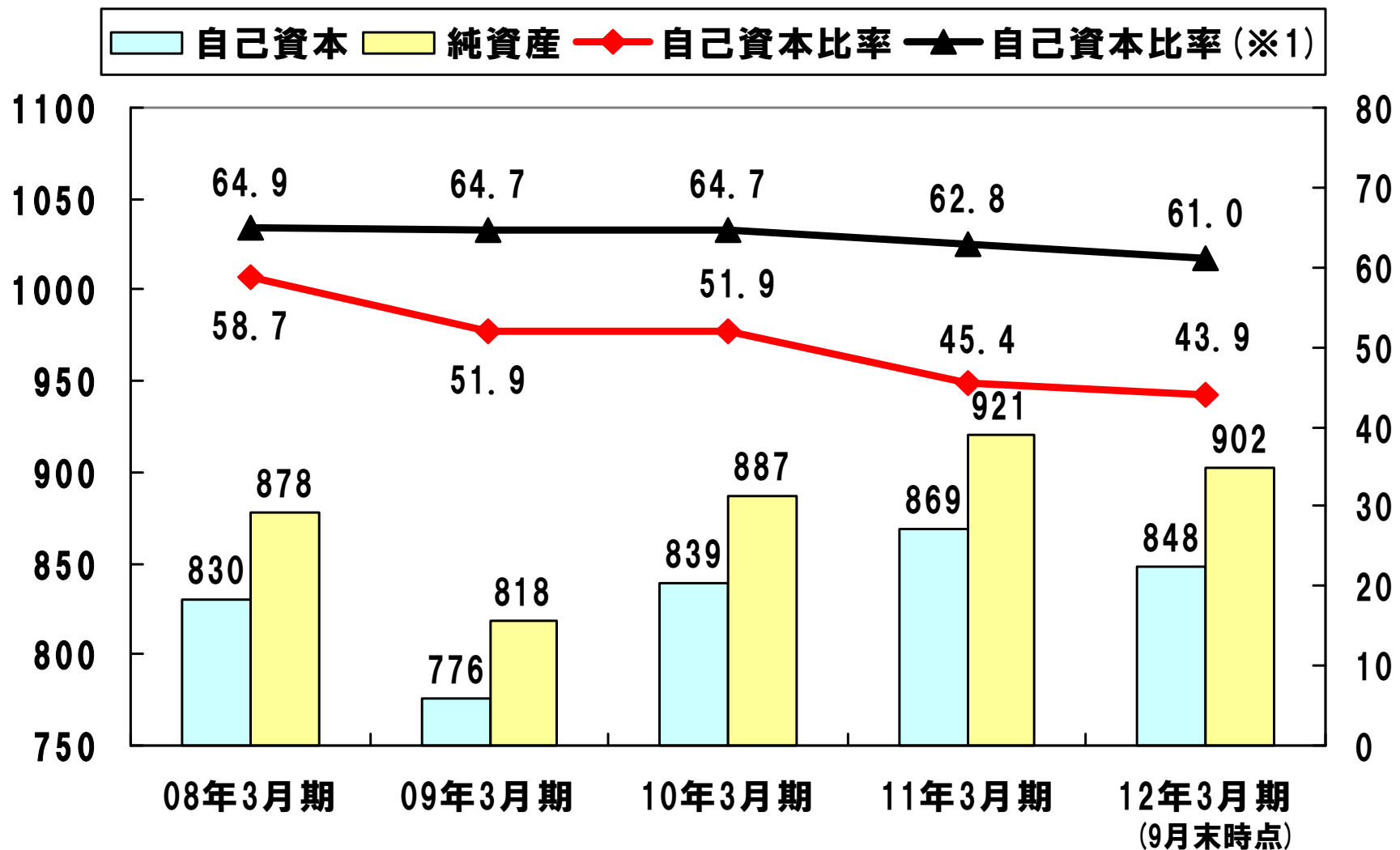
単位：億円

■ 有利子負債
 ■ 現預金・短期有価証券
 □ ネットキャッシュ



自己資本比率

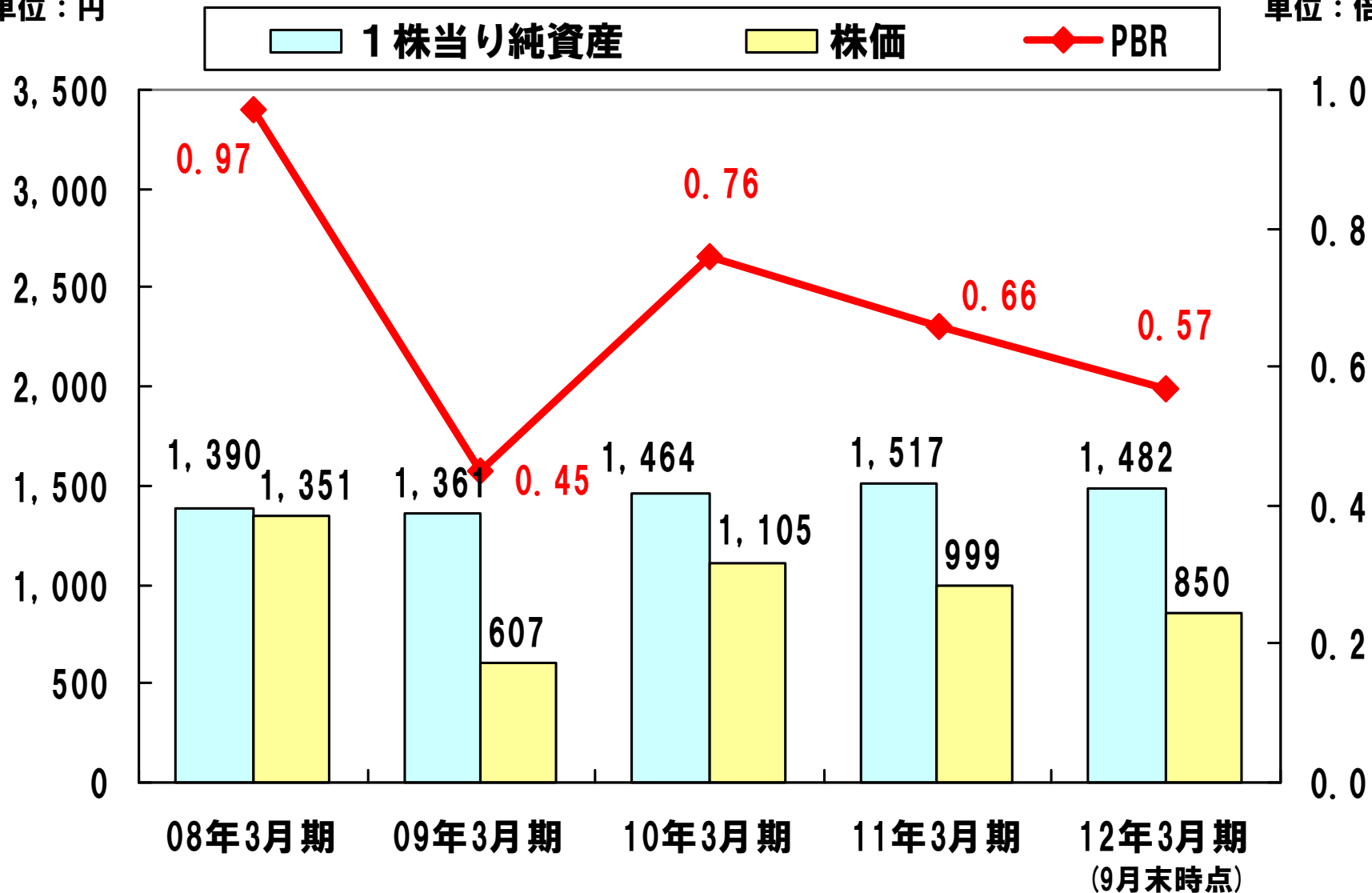
単位：億円 (自己資本比率(※1)は、外貨預金に相当する円貨借入れを除いた場合の比率) 単位：%



P B R 推移

単位：円

単位：倍

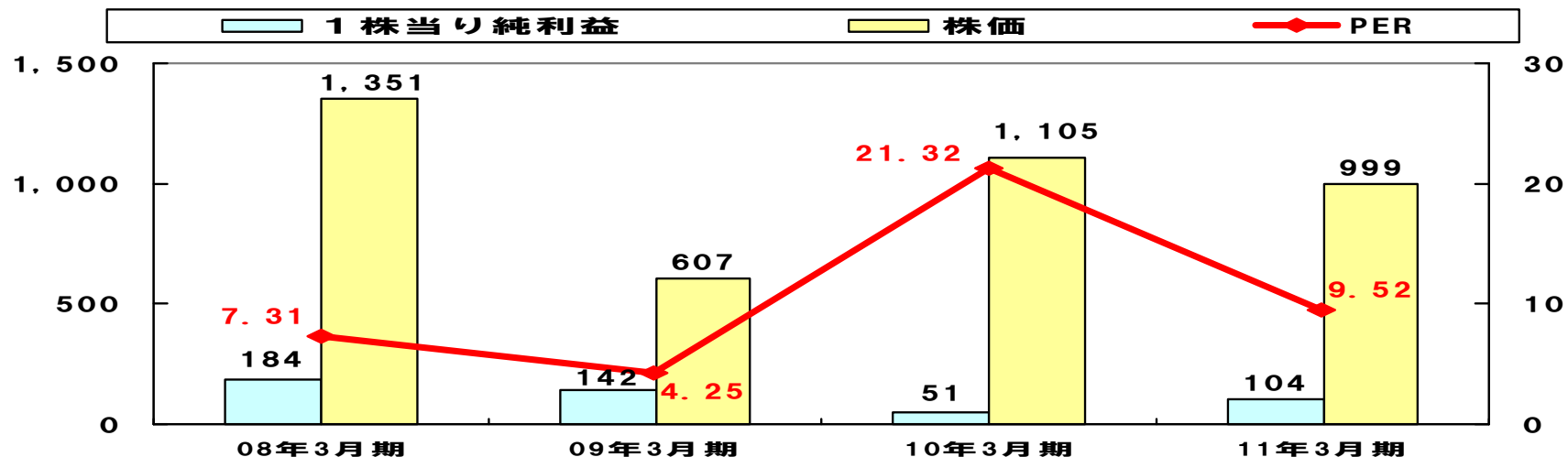


PER・PCFR 推移

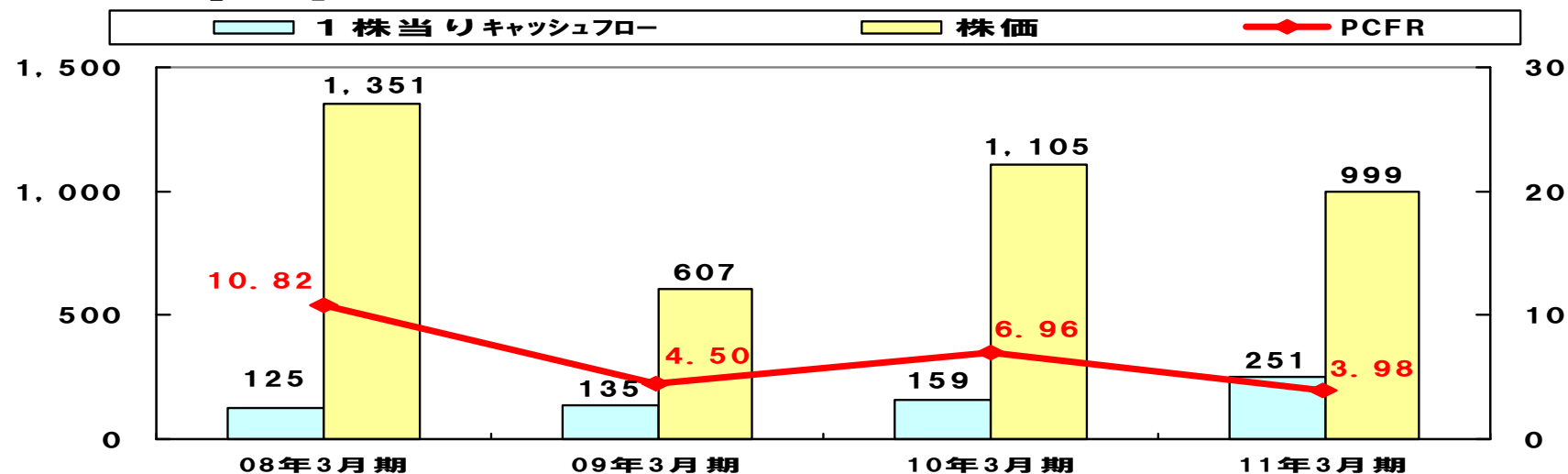
単位：円

【PER】

単位：倍

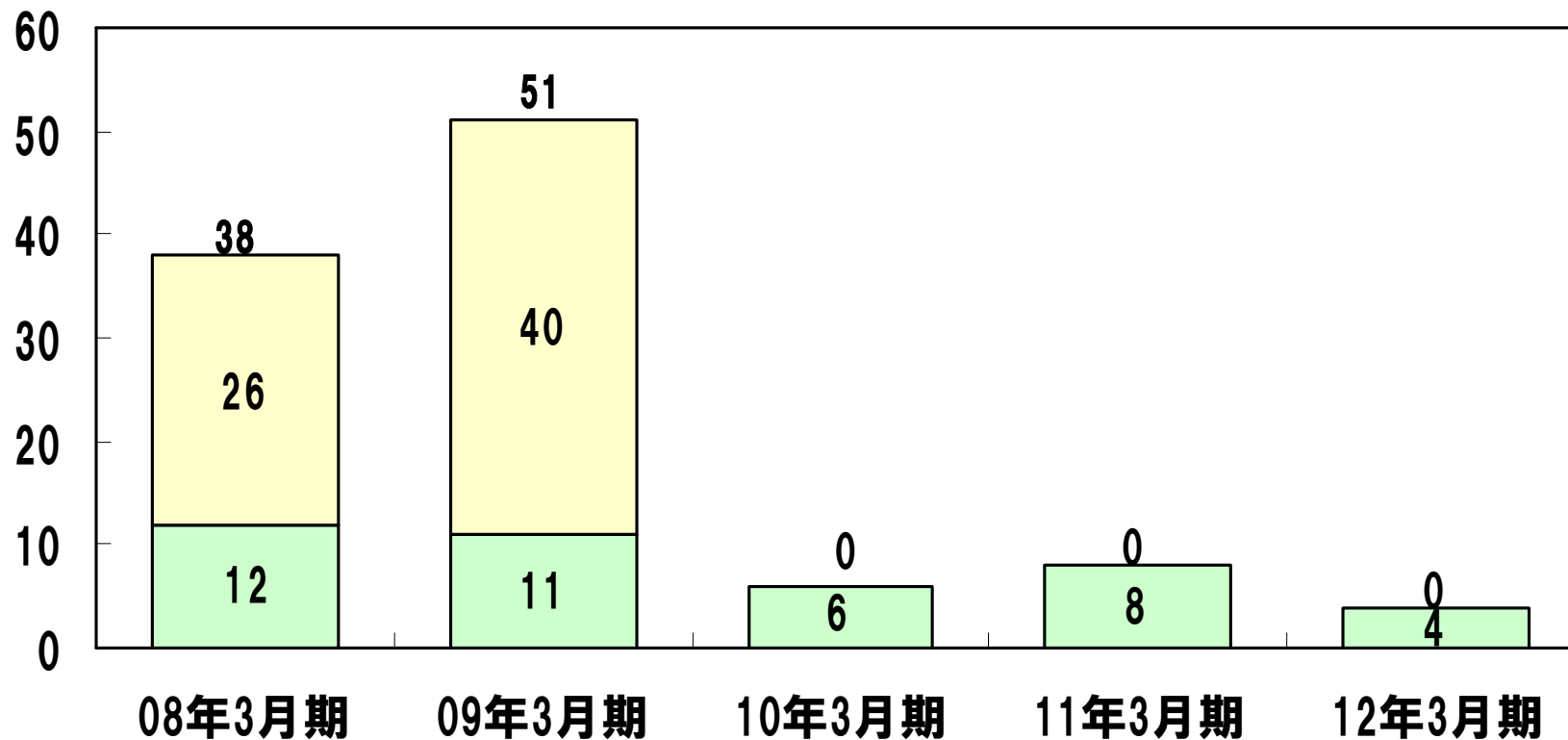


【PCFR】 CF=営業CF-有形固定資産取得による支出



株主還元

単位：億円

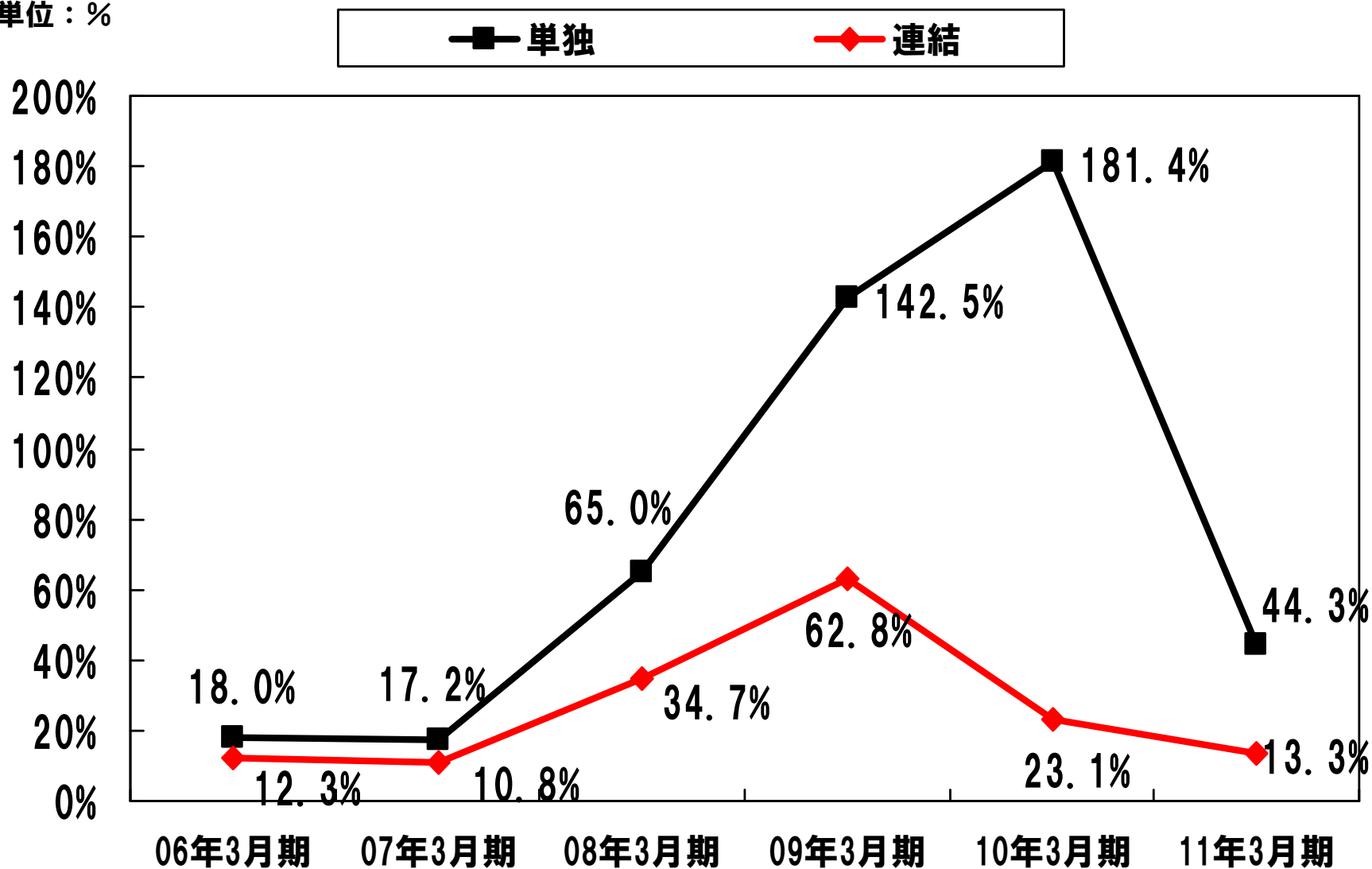


単位：円

配当金	21.00	19.50	12.00	14.00	7.00
------------	-------	-------	-------	-------	------

総配分性向（単独・連結）

単位：％



2012年3月期予想

2012年3月期の連結業績予想につきましては、円高の長期化による影響等先行きが不透明な状況であること、またタイで発生している洪水の影響につきましても不透明なことから、現時点では平成23年8月5日に公表した予想数値を据え置くことといたします。

今後、業績の推移を見極めて、必要に応じて業績予想の見直しを行う予定でありますので、本日の説明会での言及は控えさせていただきます。

2012年3月期予想

単位：百万円

	11年3月期 (実績)	12年3月期 (予想)	増減率
売上高	167,276	169,000	+ 1.0%
営業利益	14,650	10,500	△ 28.3%
経常利益	10,490	11,000	+ 4.9%
当期利益	6,010	6,000	△ 0.2%
一株利益	104.91円	104.73円	—
為替 (USドル)	85.73円	80.00円	5.73円高

本日も説明する内容

- ◇ 2012年 3月期 第2四半期決算概要
- ◇ **中長期成長戦略**
- ◇ その他

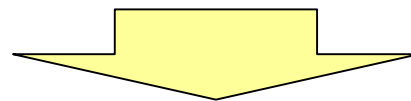
中長期成長戦略

もの造り力の強化

(1) 開発・提案力の強化

(2) グローバル生産体制の強化

(3) 高効率オペレーションの強化



■ 強力なコストダウンの推進

■ 成長市場で競合に打ち勝つ営業・開発・生産体制の構築

中長期成長戦略

もの造り力の強化

(1) 開発・提案力の強化

先行技術開発の強化による市場の創造

- ① 次世代自動車インパネの研究・開発・提案
- ② HUD（ヘッドアップディスプレイ）の開発・拡販
- ③ ディスプレイ技術の開発・拡販
- ④ コスト競争力のある要素技術・製品仕様の開発・提案

中長期成長戦略

もの造り力の強化

(2) グローバル生産体制の強化

成長市場・大規模市場への積極展開による計器のシェア拡大

- ① 中国・インドの営業・開発強化と生産能力拡大
- ② 米国・メキシコが一体となったコスト競争力強化
- ③ グローバル相互補完体制の高度化
- ④ 海外生産工場の徹底した生産性向上

中長期成長戦略

もの造り力の強化

(3) 高効率オペレーションの強化

複雑化する業務の高度な「仕組み化」による
競争優位の確立

- ① 設計の効率化による少人数・多機種設計の実現
- ② 生産・調達・物流の効率化によるコストダウン
- ③ グループ全体での管理部門のスリム化

中長期成長戦略

もの造り力の強化

(1) 開発・提案力の強化

先行技術開発の強化による市場の創造

- ① 次世代自動車インパネの研究・開発・提案
- ② HUD（ヘッドアップディスプレイ）の開発・拡販
- ③ ディスプレイ技術の開発・拡販
- ④ コスト競争力のある要素技術・製品仕様の開発・提案

(1) 開発・提案力の強化 ~ 先行技術の開発による市場の創造

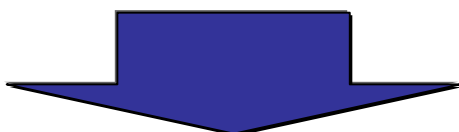
計器開発のトータルコンセプト

クルマへの社会のニーズ

- 環境性能の高度化
- 安全性能の高度化
- 情報通信性能の高度化

当社のシーズ

- HUD技術
- ディスプレイ技術
(LCD・OLED)



当社の商品開発の方向性

HUD・LCD・OLEDを核に、
安全運転を支援する「システム」としての
次世代インパネを開発

次世代自動車インパネの研究・開発・提案

－ 新商品企画開発 －

安全運転を支援する「システム」としてのインパネ

自動車の進化・ユーザーニーズの進化により、様々な情報がインパネをインターフェースとしてドライバーに伝達される

見やすい : 視線移動が少ない、瞬間的に判読できる

操作しやすい : 視線を移動させず運転に集中できる

安全確認しやすい : 死角を無くす



**メーター・HUD・操作スイッチを
一体化したシステムとして開発**

次世代自動車インパネの研究・開発・提案

— 新商品企画開発 —

HUD

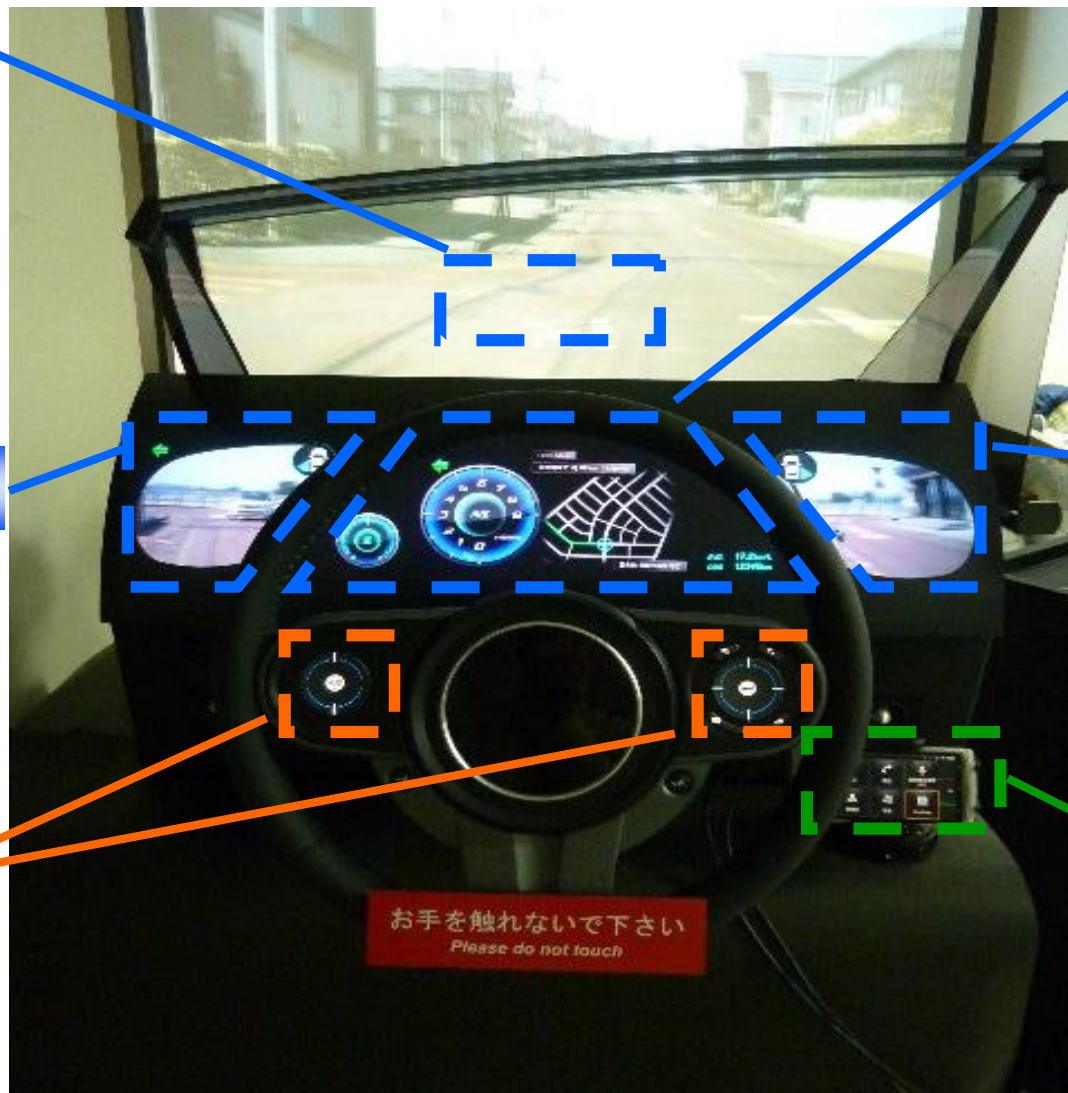
- ・ 車速
- ・ エアコン、オーディオ
- ・ ワーニング、簡易ナビ

インパネ (左)

- ・ 電子ミラー画像
- ・ フロント死角補助画像

操作スイッチ

- ・ HUD表示の調整
- ・ スマホの操作
- ・ メーターの操作



インパネ (中央)

- ・ 回転数、残燃料、距離
- ・ ナビ地図
- ・ スマホ連携画面
- ・ 車両診断情報

インパネ (右)

- ・ 電子ミラー画像
- ・ 渋滞情報
- ・ 施設混雑情報 等

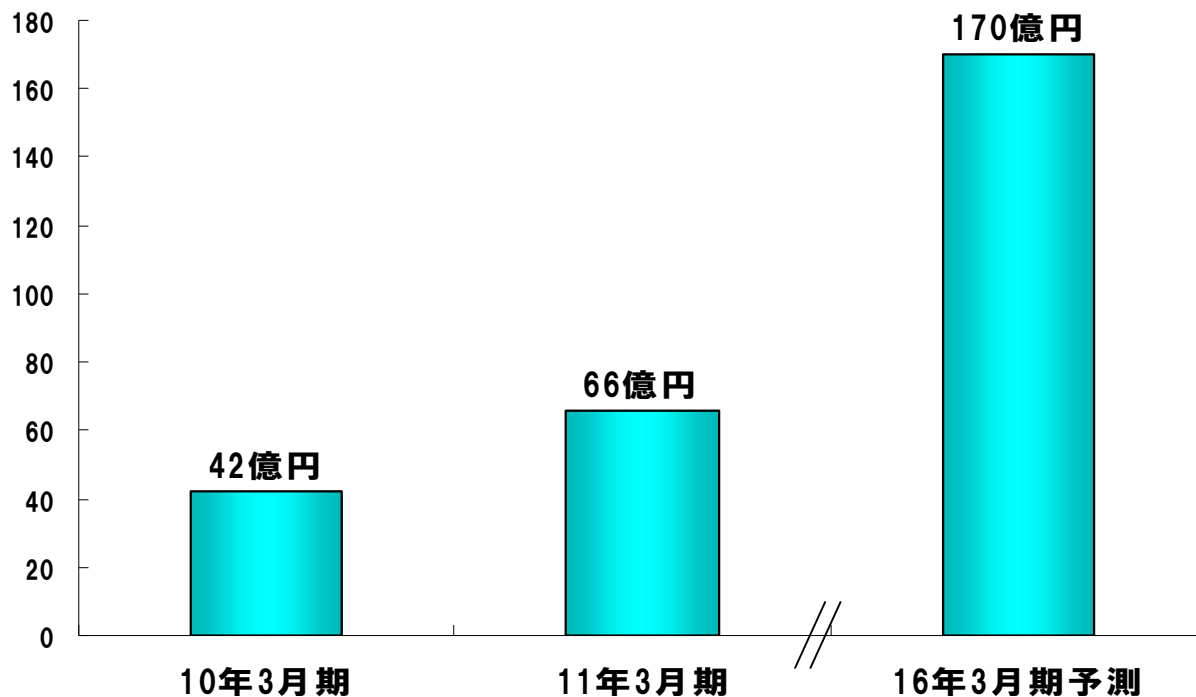
スマートフォンとの連携

- ・ ナビ、地図
- ・ Audioソース
- ・ 音声検索

(1) 開発・提案力の強化 ~ 先行技術の開発による市場の創造

ヘッドアップディスプレイ (HUD) 開発・拡販

— HUD 売上高の予測 —



HUD搭載で先行する
「BMW」に供給



欧米自動車メーカーへの
『販売拡大』と『商品力強化』

(1) 開発・提案力の強化 ～ 先行技術の開発による市場の創造

ヘッドアップディスプレイ (HUD) 開発・拡販

－ ヘッドアップディスプレイの商品性向上 (小型化) －

LED HUD



現行量産品と比べ、体積 30%削減

・LEDを使用し、光源と表示体を一体化
(現行品:高輝度バックライト + 表示ディスプレイ)
～HUD小型化 → 中小型車 搭載促進

コンバイナ HUD



コンバイナHUDの Pop Up 機構

・フロントガラスの形状を問わず、
HUD最小のパッケージが可能
～HUD搭載容易 → 中小型車 搭載促進

中長期成長戦略

もの造り力の強化

(1) 開発・提案力の強化

先行技術開発の強化による市場の創造

- ① 次世代自動車インパネの研究・開発・提案
- ② HUD（ヘッドアップディスプレイ）の開発・拡販
- ③ **ディスプレイ技術の開発・拡販**
- ④ コスト競争力のある要素技術・製品仕様の開発・提案

(1) 開発・提案力の強化 ~ 先行技術の開発による市場の創造

OLED (有機EL) 開発のトータルコンセプト

OLEDの特長

- 薄型・軽量
- 低消費電力
- 高精細・広視野角

当社の強み

高い信頼性が要求される
車載分野で業界トップの
実績を誇る

当社の商品開発の方向性

- ①省電力の追求 ECO OLEDの開発・拡販
- ②パネルのサイズアップ化と低コスト化の両立
- ③有機EL照明の開発、市場参入

(1) 開発・提案力の強化 ～ 先行技術の開発による市場の創造

有機ELの開発・拡販

- サイズアップOLED（有機EL）の開発-

【特徴】新たなドライバICの開発により、
ワンチップのICでOLED駆動サイズ拡大を目指す。

サイズ	2.7"	4.2"	→	4.2"
ドット数	64×256	68×256 136×256		68×256 136×256
IC数	1チップ	4チップ		1チップ

従来の小型サイズから中型サイズへと
製品領域を広げることで、車載用・産業機器用等
への拡販を進める。

例：産業機器用

(1) 開発・提案力の強化 ～ 先行技術の開発による市場の創造

有機ELの開発・拡販

- OLED (有機EL) 照明 -

【特徴】OLEDの特徴である面発光・拡散光・薄型・高効率を生かし、デザイン性の優れた照明を提案する。



スタンド照明
(試作品)



パネル照明
(試作品)



各種カラーモデル
(試作品)



10月26日～28日のFPD international 2011展に出展し、多数のお問い合わせを頂いております。

(1) 開発・提案力の強化 ～ 先行技術の開発による市場の創造

LCD (STN) 分野の開発・拡販

- グレースケール表示・セグメント/ドット混在表示LCD -

【特徴】 3Dを思わせる高いデザイン性と高機能を併せ持ったモデル

- ◇グレースケール表示、背面加飾表示による高いデザイン性
- ◇セグメント表示の見易さ、ドット表示の多機能表示による高機能化
- ◇車載信頼性を満足し、コストアップを抑制

応用例：二輪車用計器

セグメント表示
/ドット表示に
よる高機能化

グレースケール
表示による
立体感

ドット表示に
よる多機能
表示

背景加飾印刷
による演出



※FPD international 2011 出展モデル ※ミラノショー出展予定

中長期成長戦略

もの造り力の強化

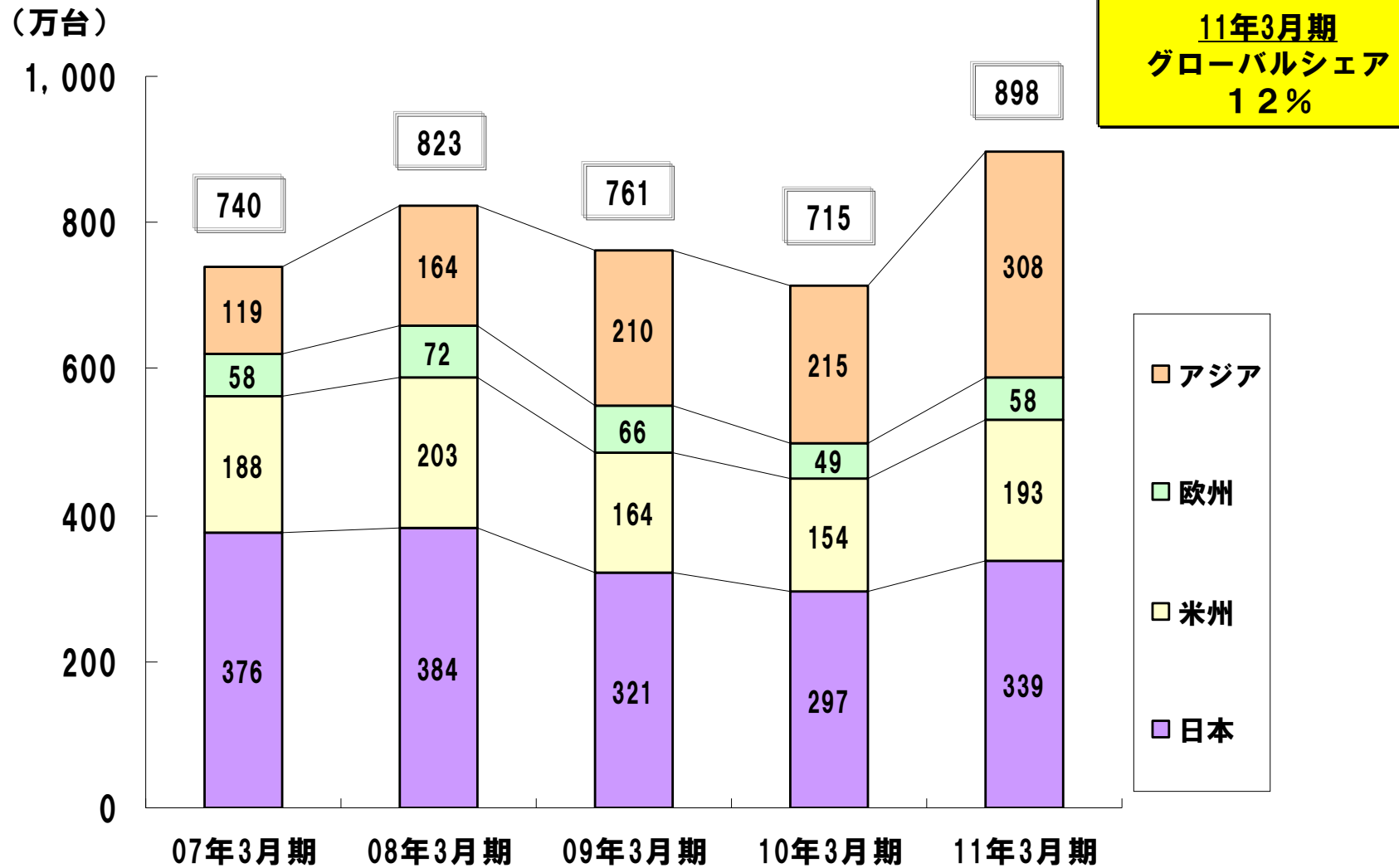
(2) グローバル生産体制の強化

成長市場・大規模市場への積極展開による計器のシェア拡大

- ① 中国・インドの営業・開発強化と生産能力拡大
- ② 米国・メキシコが一体となったコスト競争力強化
- ③ グローバル相互補完体制の高度化
- ④ 海外生産工場の徹底した生産性向上

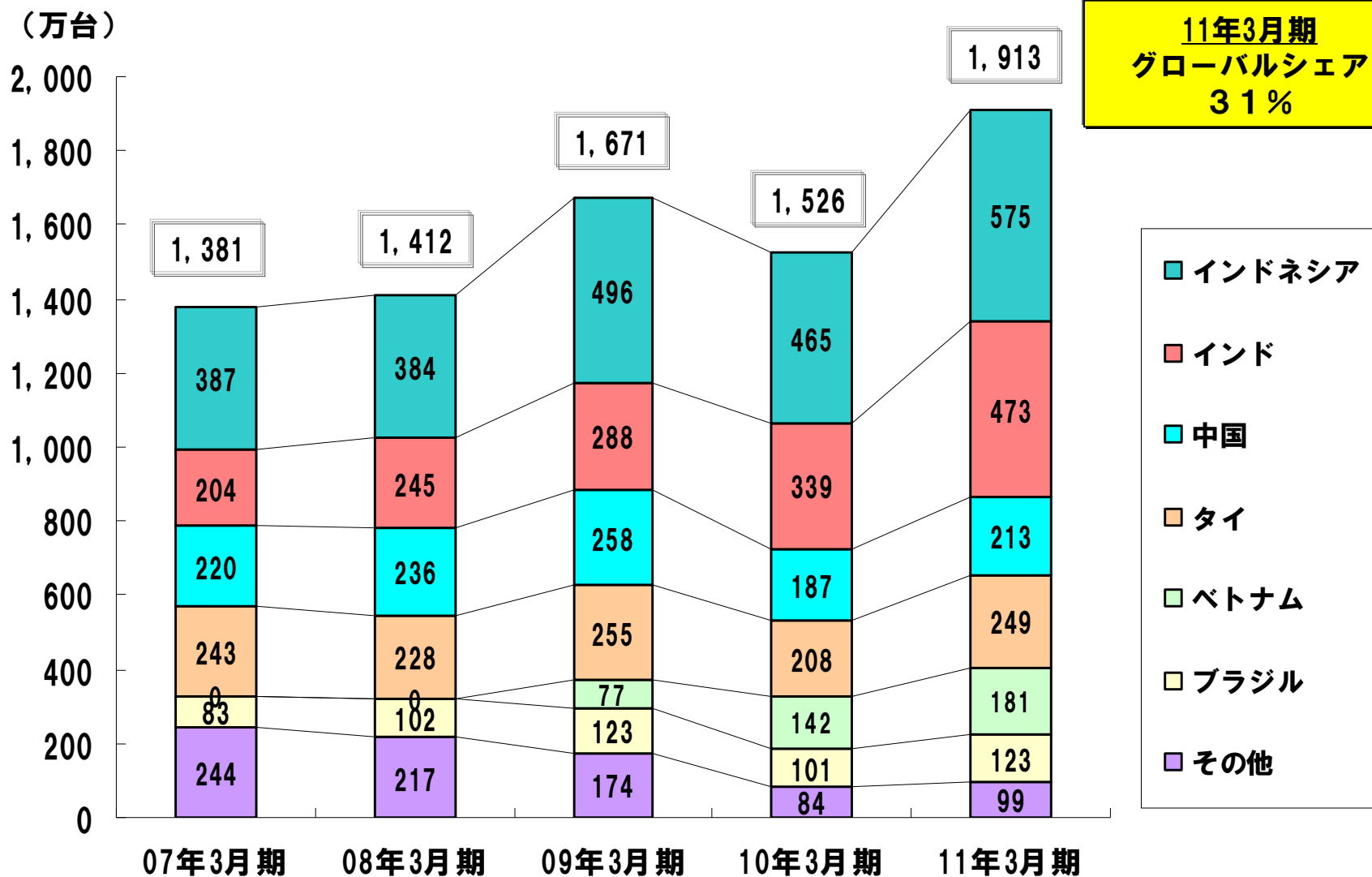
(2) グローバル生産体制の強化 ～成長市場・大規模市場への積極展開によるシェアの拡大～

四輪計器 生産台数推移



(2) グローバル生産体制の強化 ～成長市場・大規模市場への積極展開によるシェアの拡大～

二輪計器 生産台数推移



中長期成長戦略

もの造り力の強化

(2) グローバル生産体制の強化

成長市場・大規模市場への積極展開による計器のシェア拡大

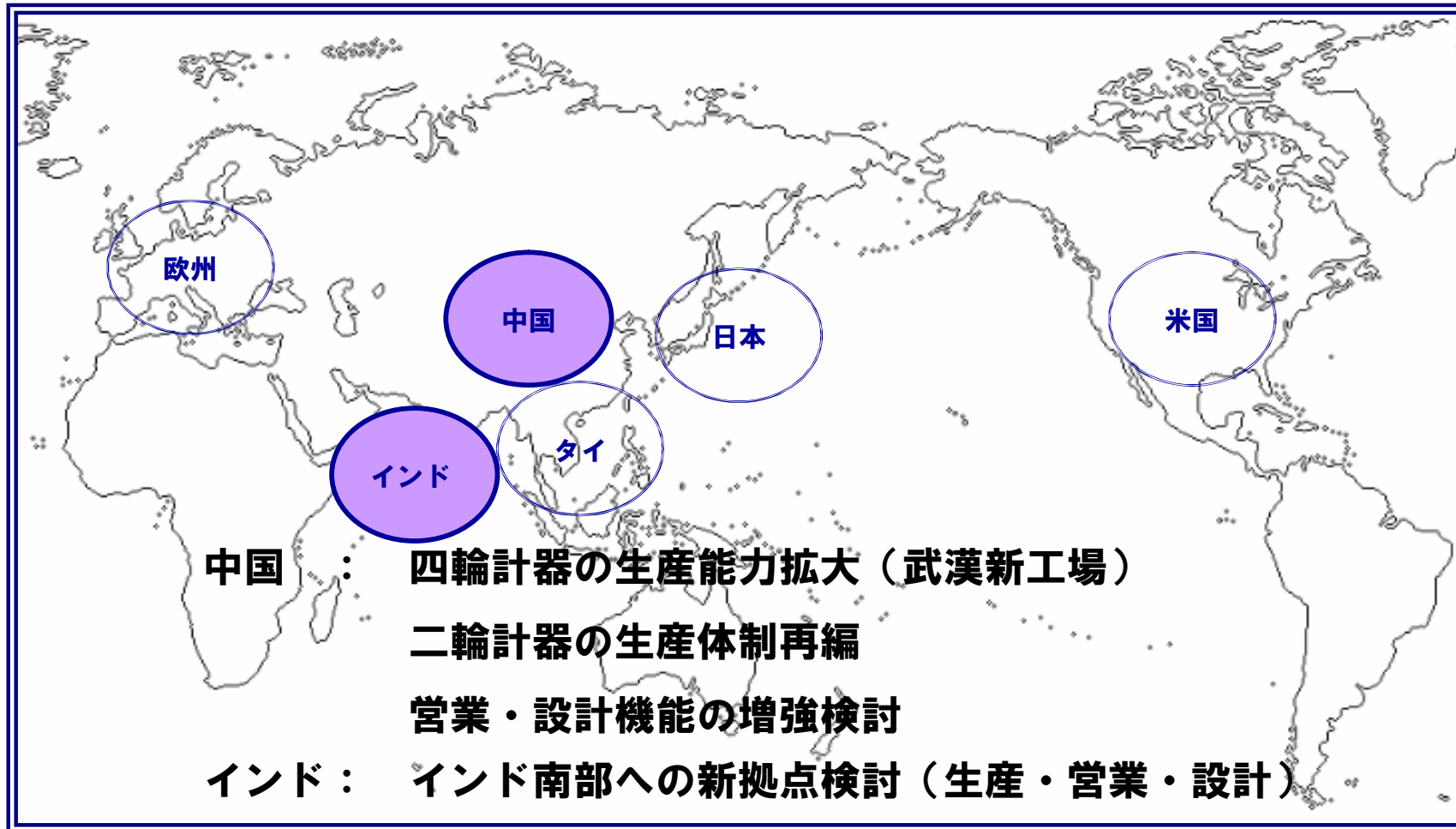
- ① 中国・インドの営業・開発強化と生産能力拡大
- ② 米国・メキシコが一体となったコスト競争力強化
- ③ グローバル相互補完体制の高度化
- ④ 海外生産工場の徹底した生産性向上

(2) グローバル生産体制の強化 ～成長市場・大規模市場への積極展開によるシェアの拡大～

中国・インドの営業・開発強化と生産能力拡大

- グローバル営業・設計機能強化 -

成長市場である中国・インドを最重点地域としてシェア拡大を図る



(2) グローバル生産体制の強化 ～成長市場・大規模市場への積極展開によるシェアの拡大～

中国・武漢市に合併会社設立

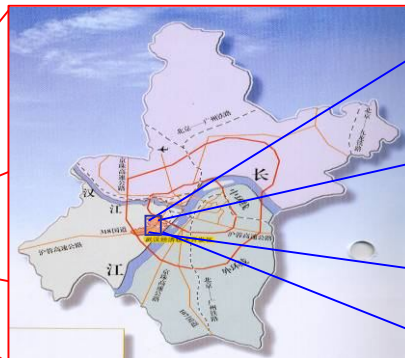
— 中国ローカル系四輪車メーカーへの拡販強化 —

名 称	日精儀器武漢有限公司
設 立	2010年 6月 (2011年内 工場着工予定)
合併相手 (理由)	湖北東峻工貿有限公司 (民営企業) (中国系現地自動車メーカーに対する強い営業力)
出資比率	日本精機 75% 湖北東峻 25%
目 的	中国 四輪車市場用計器シェアの拡大 ・中国系現地自動車メーカーへの販売拡大

中国



湖北省 武漢市



武漢経済技術開発区



東風ホンダ/東風乗用車/神龍PSA等と
同じ開発区内

(2) グローバル生産体制の強化 ～成長市場・大規模市場への積極展開によるシェアの拡大～

中国・武漢市に合併会社設立

— 中国ローカル系四輪車メーカーへの拡販強化 —

日精儀器武漢有限公司

2011年 6月 設立

2011年内の着工、2012年度後半より量産開始予定



[イメージ図]

二輪計器事業のコスト競争力強化

－ 生産体制再編によるコスト競争力強化 －

<狙い> グローバル二輪計器のシェア拡大

常州日精儀器有限公司

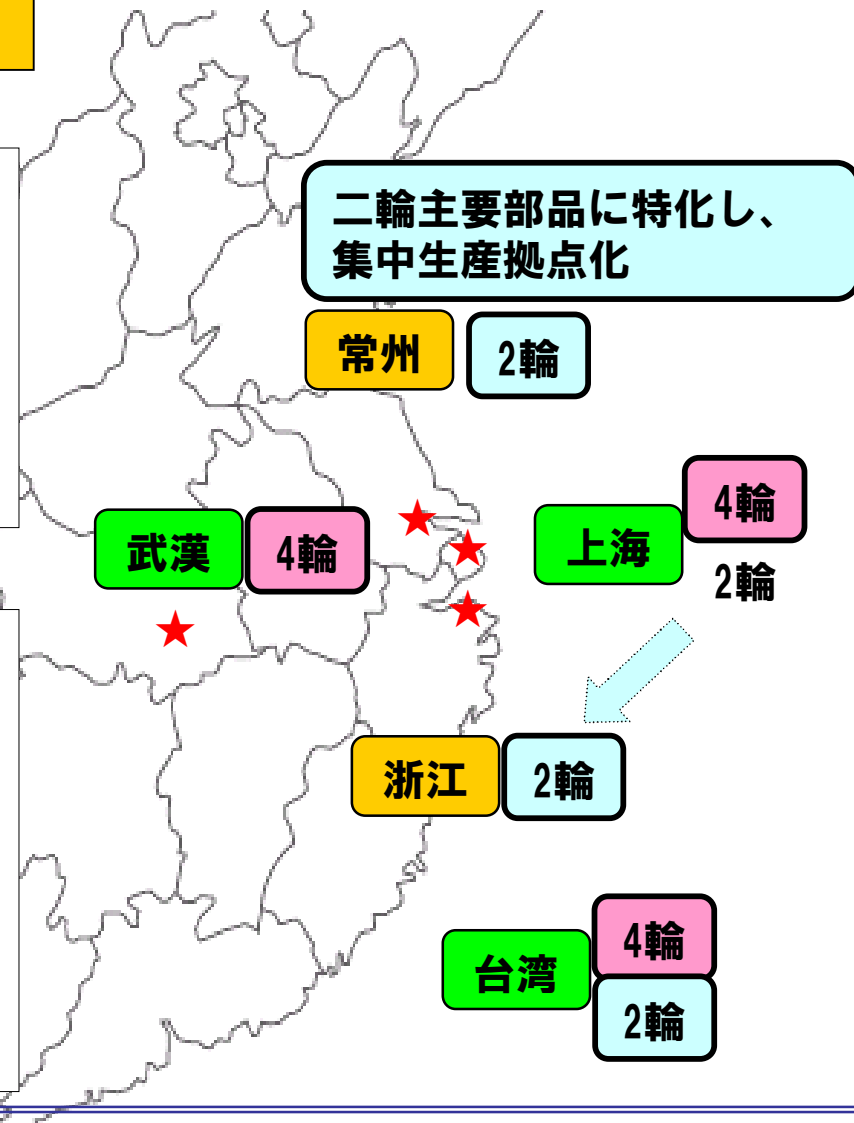


- ・ 2011年7月 **100%子会社化**
- ・ 2012年2月 **機械式本体の量産開始**

浙江日精儀器有限公司



- ・ 機械式計器の生産拠点集約に向けて上海日精儀器から一部移管中
- ・ 2012年6月 **統準化メーター**をローカルメーカー向けに量産開始



中長期成長戦略

もの造り力の強化

(2) グローバル生産体制の強化

成長市場・大規模市場への積極展開による計器のシェア拡大

- ① 中国・インドのコスト競争力強化と生産能力拡大
- ② **米国・メキシコが一体となったコスト競争力強化**
- ③ グローバル相互補完体制の高度化
- ④ 海外生産工場の徹底した生産性向上

(2) グローバル生産体制の強化 ～成長市場・大規模市場への積極展開によるシェアの拡大～

米州におけるコスト競争力強化・生産能力拡大

－ メキシコ2法人体制 生産体制の拡充 －

ニッポンセイキ・デ・メヒコ社 (NSMX)



2011年 2月 新工場完成

2011年 7月～ 量産開始

・四輪車計器用基板アッセンブリ量産

自社工場で量産開始することで
生産効率向上・生産能力拡大

ニッセイ・アドバンテック・メヒコ社



2009年 8月～ 量産開始

・四輪車計器用部品
指針、文字板等の 樹脂成型・印刷部品

2010年 3月～ 量産開始 (NSMX社)

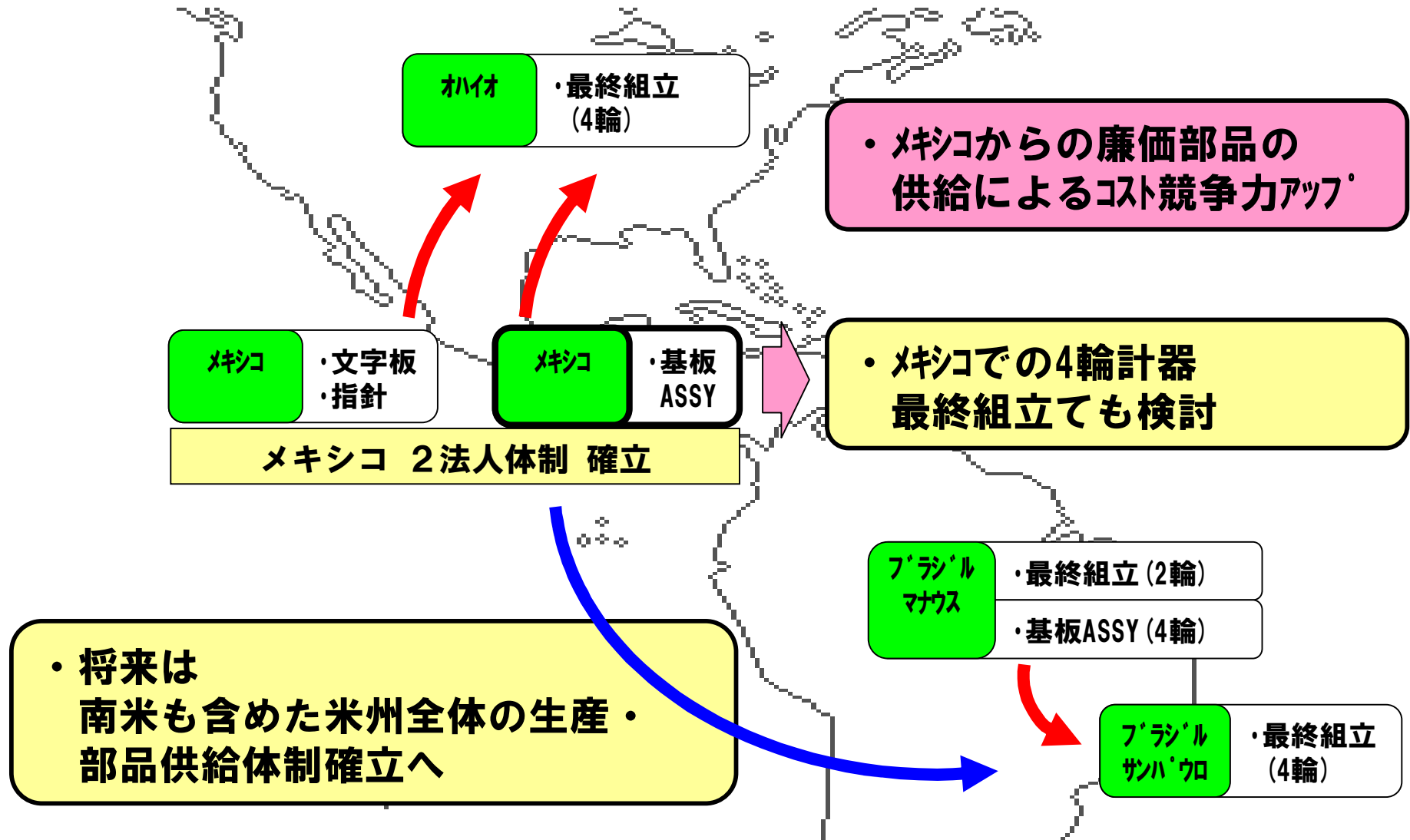
・ニッセイ・アドバンテック・メヒコ社の
工場の一部を活用して基板ASSY

メキシコ現地2法人体制～ 北米における四輪車用計器の
コスト競争力強化実現

(2) グローバル生産体制の強化 ～成長市場・大規模市場への積極展開によるシェアの拡大～

米州におけるコスト競争力強化・生産能力拡大

— 米国・メキシコ・ブラジル 最適生産体制（将来構想） —



中長期成長戦略

もの造り力の強化

(2) グローバル生産体制の強化

成長市場・大規模市場への積極展開による計器のシェア拡大

- ① 中国・インドのコスト競争力強化と生産能力拡大
- ② 米国・メキシコが一体となったコスト競争力強化
- ③ **グローバル相互補完体制の高度化**
- ④ 海外生産工場の徹底した生産性向上

グローバル相互補完体制の高度化

高度な部品・製品供給体制を構築 = コスト競争力の強化

【現状】

- ・ アセアン・中国拠点から欧米日印の各拠点への部品・製品の供給
- ・ アセアン・中国域内での部品・製品の供給
- ・ メキシコ拠点から米国拠点への部品の供給
- ・ ブラジル域内での部品の供給
- ・ 香港拠点での部品の集中購買とグローバル各拠点への供給

【今後の取組み】

- ・ 海外拠点の増加
- ・ 災害等のサプライ・チェーン・クライシスへの備え



情報ネットワーク・管理システムを強化することで、日々のオペレーションを高度かつ低コストで遂行する「仕組み」を構築・進化させる

(2) グローバル生産体制の強化 ～成長市場・大規模市場への積極展開によるシェアの拡大～

樹脂材料 着色加工事業

- 今後注力する子会社事業の紹介 -

【事業内容】

- ◇無色透明である樹脂材料に染顔料等を加え、粒状の着色樹脂材料へ加工
- ◇添加剤を加え環境耐久性・物理強度向上の加工



加工前

⇒

染顔料等の添加・加工

⇒

加工後

※8000色以上の対応が可能

【製品用途】

汎用樹脂から高機能樹脂まで

- ◇車載・民生部品材
- ◇光学系(レンズ)、医療系
- ◇LED照明用拡散材、太陽光パネル材など

【製造拠点】

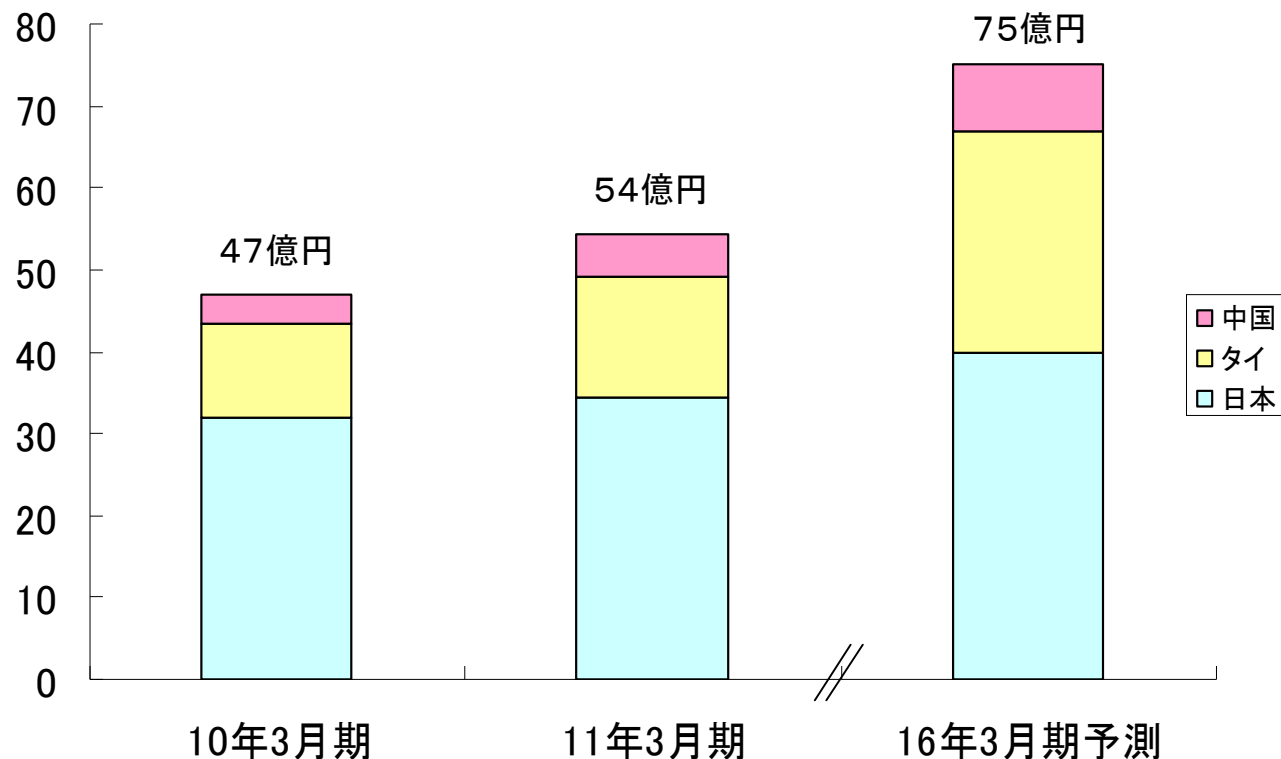
- ◇日本(当社子会社)
- ◇タイ
- ◇中国

(2) グローバル生産体制の強化 ～成長市場への積極展開によるシェアの拡大～

樹脂材料 着色加工事業

業績推移

－ 今後注力する子会社事業の紹介 －



主要顧客：旭化成ケミカルズ(株)、三菱エンジニアリングス(株)、(株)クラレ 等

【事業拡大のカギ】

- ◇新開発材料の国内開発→海外生産による品質とコストの両立
- ◇市場拡大が見込まれるLED照明用拡散材、太陽光パネル材や高機能製品である光学系・医療系の拡販強化

2012年3月期第2四半期決算説明会



2011年11月17日